

取扱説明書

このたびは、**MTR** をご購入いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**MTR** を安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

SANWA

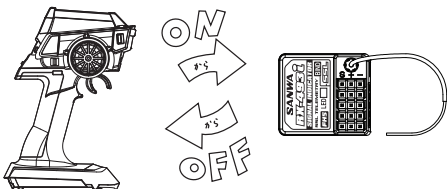
プロポの安全な取扱いと注意事項

お買い上げいただいたプロポを正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を必ず守ってください。使用方法を誤ったり、安全に対する注意をおこたったりすると、他人に迷惑をかけたり、自分自身をきずつけたりすることになります。
■安全確保のため、この各項目を必ずお守りください。

警告

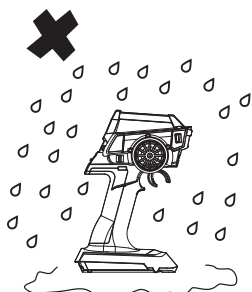
搭載時及び操作上の注意

- プロポの電源スイッチをONにするときは必ず①送信機→②受信機の順でおこなってください。またOFFにするときは①受信機→②送信機の順番でおこなってください。
- ☆スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンやモーターが高回転になり、大変危険です。

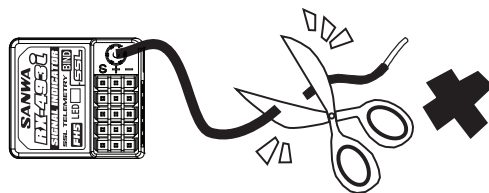


- 車体には必ずノイズ対策をおこなってください。
- ☆金属同士がこすれると電氣的ノイズ(雑音)が発生し正常な動作をしない原因となりますのでビス、ナットのゆるみのないことを確認してください。
- ☆ガソリンエンジン、モーターなどからもノイズが発生することがあります。抵抗入りプラグや、ノイズキラーコンデンサー等のノイズ対策をおこなってください。
- 走行前に必ずプロポの動作確認(通達テスト)をおこなってください。異常な動きをしたり、動かない場合は走行(航)させないでください。机上でのテストが正常であっても走行(航)中の電波の到達距離は、受信機の搭載方法、アンテナの張り方、送信機のアンテナの向き、地形等によって変わりますので、初走行(航)の際は特にご注意ください。

- 雨の日は絶対に走行(航)させないでください。
- ☆送信機内部は精密な電子部品でできていますので、ケースを伝わって水が入ると誤動作や不動となり危険です。
- ☆受信機、サーボ等が水没した時は、すぐに回収して内部を乾燥させてください。乾燥後、正常に動作しても念のためサンワ サービスへ点検にお出しください。



- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。
- ☆厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機はスピードコントローラー、モーター、バッテリーからできるだけ離して搭載してください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに搭載する場合は両面テープを3枚位かさねて使用し、受信機をシャシーから離してください。
- 電波障害がある場合は、受信機の搭載場所をかえるか、タテ積⇄ヨコ積に搭載方法をかえてください。
- 受信機のそばにモーターコードやバッテリーコードがあると誤動作しやすくなるので、近づけないでください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- ☆アンテナ線が短くなると走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- ☆アンテナ線は絶対に切断しないでください。



- アンテナ線はモーターコードやバッテリーコードに近づけないようにしてください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに導電性のピアノ線アンテナを使用するとノイズにより誤動作する可能性があります。シャシーにアンテナ線を近づけないようにしてください。

警告 走行(航)の際の注意

RCカー等を走行する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないようご注意ください。

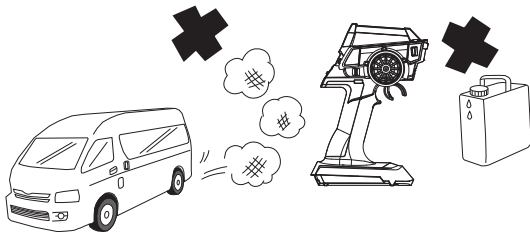
- 車体(船体)は完全に整備をして安全を確認してください。
- 人ごみや道路では絶対にRCカーを走行させないでください。
- 走行後は必ず動力バッテリーのコネクターをはずし、車体から動力バッテリーをはずしてください。
- 同時走行(航)の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って走行してください。
- 他の人の走行を妨げないようにご注意ください。
- ラジコン保険に必ず加入してください。ラジコン保険の加入申込はラジコン操縦士登録代行店にお問合わせください。
- エンジンカーには必ず消音効果のある「マフラー」(消音機)を付けてください。
- 早朝からのエンジン始動はやめてください。
- 走行場所は必ずきれいに掃除をしてから帰ってください。

注意 用途について

- 模型用以外には使用しないでください。
- 本製品は模型用として日本国内の電波法に基づいて製造されていますので海外ではご使用になれません。

注意 日常のお手入れ

- エンジンの排気や燃料がついた時は、やわらかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時には水または中性洗剤を染み込ませたきれいな柔らかい布を固くしぼって拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、モータークリーナー、ブレーキクリーナーなどは表面の仕上げをいためたり、変質する場合がありますので、ご使用にならないでください。

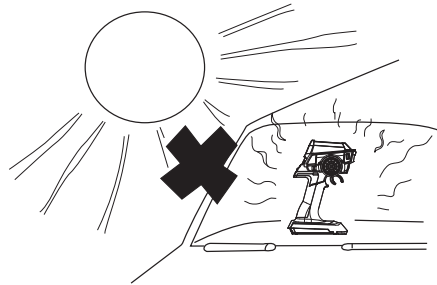


注意 送信機の取扱いについて

- ぶつけたり、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。またタイヤトラクション剤等のついた手で送信機、受信機、サーボ、F E Tスピードコントローラー等にさわると、故障やケース変形の原因となります。

注意 置き場所について

- 次のような場所で保管しないでください。
 - ☆極端に暑いところ、極端に寒いところ。
 - ☆直射日光が長時間あたるところ。
特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が80℃以上になり、変形や故障の原因となる場合がありますので充分ご注意ください。
 - ☆湿気の多いところ、風通しの悪いところ。
 - ☆振動の多いところ。
 - ☆ほこりの多いところ、蒸気や熱気が当たるところ。
 - ☆エンジンの排気がかかるところ、燃料缶のそば。



マークの意味

!	警告	事故や怪我をしないために必ず守っていただきたいこと。
!	注意	故障を起こさないために必ず守っていただきたいこと。

プロポの安全な取扱いと注意事項



注意

安全に使用していただくための注意事項

- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM（産業、科学、医療）バンドと共用されているので都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動体識別用構内無線局にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行（航）させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行（航）してください。
- 日本国内では技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会ではラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。
- 走行中は送信機のアンテナ内蔵部を握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり走行できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナ内蔵部には金属製のクリップなどを取り付けしないでください。
- 送信機のアンテナ内蔵部を受信機以外のサーボ、スピードコントローラーに極端に接近させると誤動作する場合がありますが、強い高周波出力の影響で異常ではありません。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- 受信機のアンテナ線はモーターコードやバッテリーコードなどのノイズ源に近づけないでください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに受信機を搭載する場合は両面テープなどを重ねて使用し、できるだけシャシーから離してください。



INDEX

- セットの構成と規格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
 - セットの構成 (5)
 - セットの規格 (5)
- ご使用になる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～7
 - ステアリング、スロットルのテンション調整 (6)
 - アジャスタブルトリガーの調整 (6、7)
 - 電源について、出力方式、BIND(バインド)について (7)
- 送信機各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- 受信機の接続と搭載について・・・・・・・・・・・・・・・・・・9、10
 - 受信機について、アンテナの取り扱いについて (9)
 - 接続について (10)
- ラジコンを走行させる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・13～16
 - サーボホーンの取り付け方 (13)
 - リバース [REV] の設定 (13)
 - サブトリム [SUB-T] の設定 (14)
 - サブトリムとトリムの違い (14)
 - エンドポイント アジャスト [EPA] の設定 (15)
 - デュアルレート [D/R] の設定 (16)
- 各機能の使用法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11、12、17～52
 - キー操作について (11)
 - ディスプレイパネルについて (12)
 - メニュー構成について (17)
 - セッティング [SETTING] (18～28)
 - ・デュアルレート [D/R] (18)
 - ・スピード [SPEED] (19)
 - ・カーブ [CURVE] (20)
 - ・フェールセーフ [F/S] (21)
 - ・ベース [BASE] (22～24)
 - リバース [REV] (22)
 - サブトリム [SUB-T] (22)
 - エンドポイント アジャスト [EPA] (23、24)
 - ・ファンクション [FUNC] (25～28)
 - トリム [TRIM] (25)
 - アンチロックブレーキ [ALB] (26)
 - オフセット [OFFSET] (27)
 - スロットルタイプ [TH TYPE] (28)
 - エーユーエックス [AUX] (29～34)
 - ・ステップエーユーエックス [STEP AUX] (29)
 - ・ポイントエーユーエックス [POINT AUX] (30)
 - ・4ホイールステアリング [4WS] (31)
 - ・モーターオンアクスル [MOA] (32)
 - ・エーユーエックスミキシング [AUX-MIX] (33)
 - ・コードエーユーエックス [CODE AUX] (34)
 - モデル (35～38)
 - ・モデルセレクト [MODEL SELECT] (35)
 - ・モデルネーム [MODEL NAME] (36)
 - ・モデルコピー [MODEL COPY] (37)
 - ・モデルクリア [MODEL CLEAR] (38)
 - タイマー (39～42)
 - ・ラップタイマー [LAP TIMER] (39)
 - ・インターバルタイマー [INT TIMER] (40)
 - ・ダウンタイマー [DOWN TIMER] (40)
 - テレメトリー [TELEMETRY] (41、42)
 - ・ロガー [LOGGER] (41)
 - ・アラートセッティング [ALERT SETTING] (42)
 - ・テレメトリーセッティング [TELEMETRY SETTING] (42)
 - システム (43～48)
 - ・バインド [BIND] (43、44)
 - ・キーアサインスイッチ [KEY ASSIGN SW] (45)
 - ・キーアサイントリム [KEY ASSIGN TRIM] (46)
 - ・ブザー [BUZZER] (47)
 - ・バッテリー [BATTERY] (47)
 - ・エルシーディー [LCD] (48)
 - ・キャリブレーション [CALIBRATION] (48)
 - セットアップウィザード (49～52)
- キーアサイン機能一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
- 送信機のLED点灯一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
- 索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
- こんなときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
- サンワサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
- 修理依頼カード
- 保証書

セットの構成と規格

セットの構成

	PC・プライマリーコンポーネント
〈A〉送信機	TX-4101
〈B〉受信機	RX-493i
〈C〉サーボ	-
〈D〉付属品	ブレーキトリガー +1/+2×各1 受信機用ダストカバー×1 取扱説明書×1 BINDプラグ×1 アンテナパイプ×1

●ご使用になる前にセットの内容をお確かめください。

セットの規格

〈A〉送信機	
品番	TX-4101
出力表示	デジタル表示(電源電圧表示)
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
電源	単3乾電池×4本(対応電圧DC4.8~7.4V)
重量	363g

〈B〉受信機	
品番	RX-493i
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸法	26.0x23.2x14.0mm
電源	DC3.7~7.4V
重量	6.2g

※入力電圧にご注意ください。許容電圧以上の電圧が入力されると送信機が壊れます。

ご使用になる前に

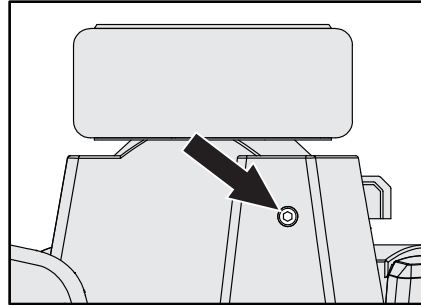
ステアリング、スロットルのテンション調整

MT-Rはステアリング / スロットルの操作感をユーザーの好みにあわせられるようにステアリング / スロットルトリガーのテンションを簡単に調整できます。

ステアリングのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー (1.5mm) を挿して廻すことにより、ステアリングのスプリングテンションを調整できます。

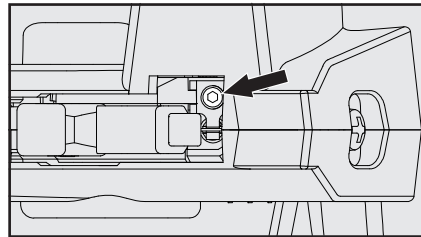
※スプリングテンションは工場出荷時が一番柔らかい状態です。六角レンチドライバー (1.5mm) で締め込んでいくと、スプリングテンションは硬くなります。



スロットルトリガーのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー (1.5mm) を挿して廻すことにより、スロットルトリガーのスプリングテンションを調整できます。

※テンション調整や機構部品の変更などをおこなったあとには取扱説明書 (P.48) の CALIBRATION をステアリング (ST)、スロットル (TH) それぞれおこなってください。



アジャスタブルトリガーの調整

MT-Rはアジャスタブルトリガーにより、ユーザーの手の大きさに合わせてトリガーポジションの調整を細かくおこなえます。

トリガーポジションの調整

送信機裏側にあるトリガー固定用ビスをゆるめます。次に送信機側面にあるトリガーポジション調整用ビスを調整してトリガーを好みの位置に決定します。トリガーポジション調整用ビスは○の回りでトリガーポジションゲージはⒶの方向に動きます。調整用ビス○の回りでⒷの方向へ動きます。

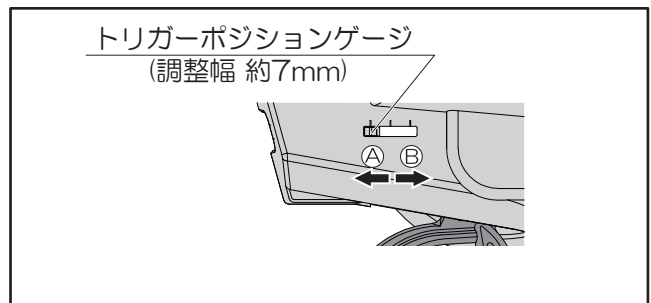
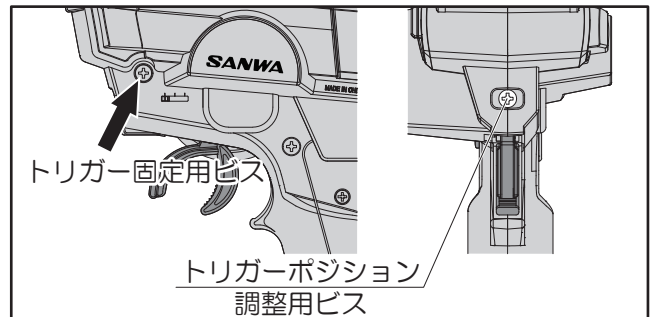
※トリガーの移動範囲は約7mmですので、範囲を超えて無理に調整用ビスを廻すと故障の原因となりますのでご注意ください。

トリガーの位置が決定しましたら、トリガー固定用ビスを締めてトリガーの調整は終了です。

※工場出荷状態でトリガーの位置はⒶ側で一番奥の位置になっていますのでビスを廻す方向にはご注意ください。

※セッティングアドバイス

トリガーポジションは指が自然にトリガーに当たる位置に調整していただくとブレーキ操作などがよりスムーズになります。



ご使用になる前に

アジャスタブル トリガーの調整

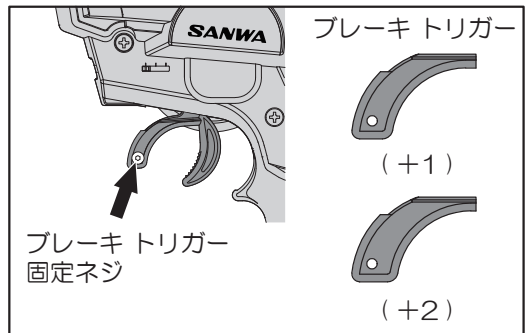
ブレーキトリガーの調整

同梱のブレーキトリガーを交換することで、手の大きさや好みに合わせて指の掛かり具合を調整できます。ブレーキトリガーは出荷時に装着されている標準サイズの他に+1と+2の2種類が同梱されています。

- 1) トリガー裏側にあるブレーキトリガー固定ネジをはずします。
- 2) 手の大きさや好みに合わせてブレーキトリガーを選定してください。
- 3) 使用するブレーキトリガーが決まったらブレーキトリガー固定用ネジで固定します。

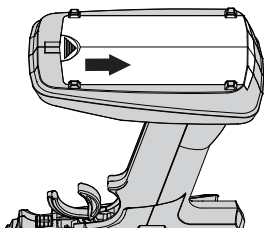
※セッティングアドバイス

操作中に指とトリガーとのすきまが多いと感じたら、ブレーキトリガーを+1、+2と付け替えていただいて操作時の違いを確認しながら調整してください。併せてトリガーポジションを調整していただくことでロボがより手にフィットして細かい操作が可能になります。

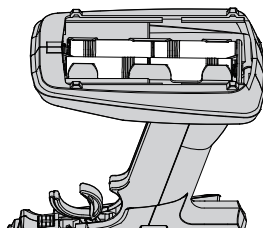


電源について

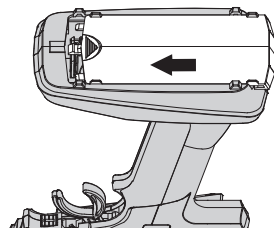
送信機の電池の入れ方



- ① OPEN部を軽く押しながら矢印の方向へスライドさせると電池カバーが開きます。



- ② 極性を間違えないで単三乾電池を4本入れてください。



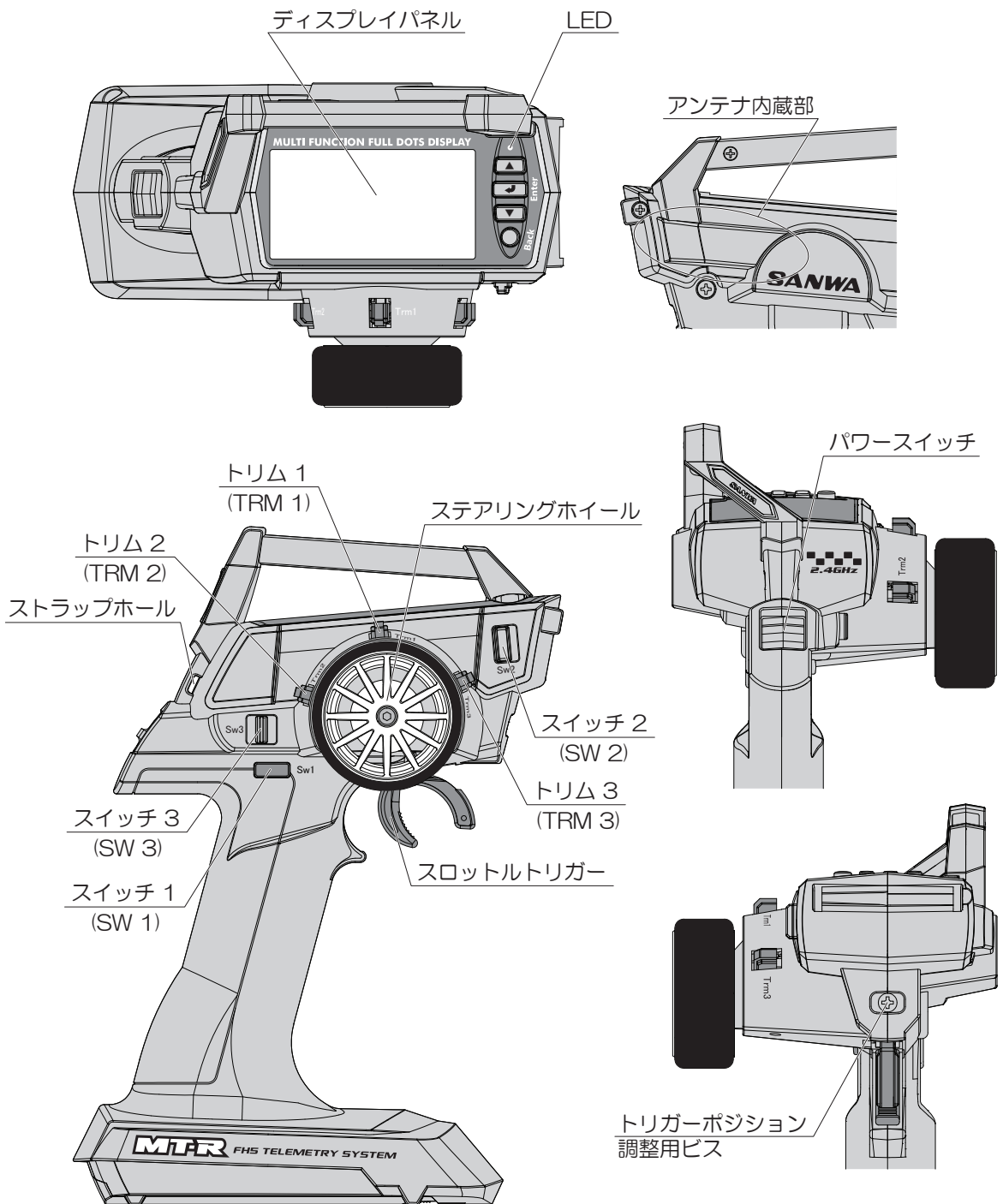
- ③ 電池カバーの凸部分を本体の溝に合わせ、矢印の方向に電池カバーをスライドさせて完全にしめます。

出力方式、BIND (バインド) について

- BIND (バインド) とは：MT-R 送信機はそれぞれ固有のID (固体識別) 番号をもっており、そのID 番号を受信機に記憶させること (BIND) です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。
- 出荷時にはバインドされていません。ご使用になる前に必ずバインドをおこなってください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でバインドをおこなってください。
- 必ずバインドした送信機と受信機のセットでお使いください。

※ BIND (バインド) の詳しい設定については取扱説明書P. 43、44 の手順にしたがっておこなってください。

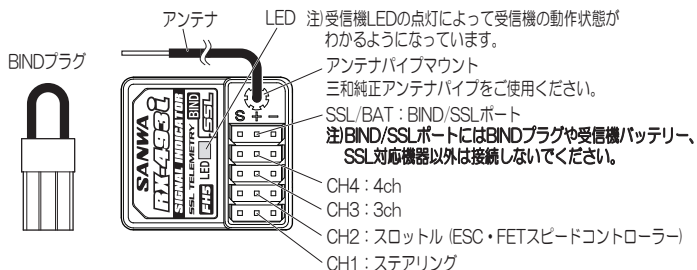
送信機の各部の名称



送信機各部の名称

受信機の接続と搭載について

受信機について



受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯、2台の送信機とIDしている之物点灯で点滅します。
電波を受信できない状態	—
BIND(バインド)設定中	青点滅、青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後に電波を受信できない状態	赤点灯

● RX-493i について

● RX-493i は送信機からの受信率と受信強度を数値化し、送信機にテレメトリーデータとして送信することができます。
※ MT-R との組み合わせでは受信率と受信強度は送信機で確認することはできませんのでご注意ください。

● RX-493i は2つのIDを記憶させることが可能です。耐久レースなどで個々の好みのポジションや設定にあわせた MT-R の組み合わせが可能となりました。

2台の送信機固有のIDを受信機に記憶させること (BIND/バインド) で、バインドした2台の送信機との動作が可能になります。(注: 2台の送信機と同時に動作できません。) 対応する送信機は MT-R、MT-5、M17 のみになります。

● スロットルのニュートラル位置や動作量は個々の送信機によって異なる可能性があります。バインドした送信機の組合せによって、送信機の設定値が同じにならない場合があります。車体のリンケージに合わせてそれぞれの送信機で調整をおこなってください。

● MT-R の CODE AUX を使用して SSL 対応機器をリアルタイムに設定変更する場合には、対応する機器を SSL ポートに接続してください。

● フェールセーフの設定は必ずそれぞれの送信機でおこなってください。

● BIND する2台の MT-R の RF MODE とレスポンスモードは全て同じにしてください。同じ設定になっていないと、2つの送信機での BIND がおこなえません。

※違う設定の送信機を2台目の送信機として BIND した場合には1台目に BIND した MT-R の ID (識別番号) は消去され、上書きされます。

※3台目の BIND をおこなうと、1台目の MT-R の ID が消去されます。

※初めて使用される場合、MT-R と RX-493i は (BIND/バインド) されておられません。

取扱説明書 (P.43) の BIND を必ず行ってからご使用ください。

アンテナの取り扱いについて

● 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。

● 右図のようにアンテナを保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、アンテナの先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。

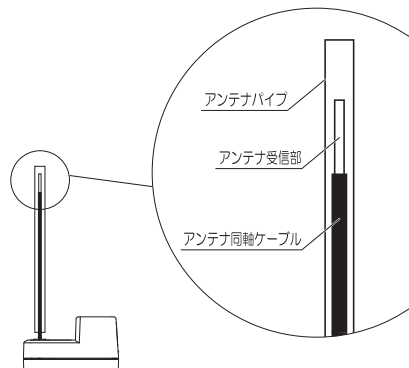
● 内部で断線の恐れがありますので、アンテナを絶対に折り曲げないでください。

● アンテナを無理に引っ張らないでください。
受信機内部の破損の原因となります。

● RC カーに搭載したときにアンテナがなるべく高い位置になるように配置してください。

● 受信感度が低下する恐れがありますので、アンテナを切断したり束ねたりしないでください。

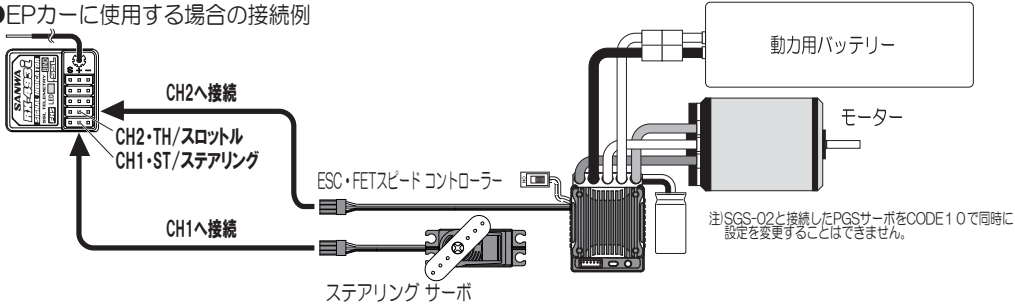
● 受信機のアンテナはモーター、ESC・FET スピードコントローラー (配線も含む) から離して、垂直に立ててください。



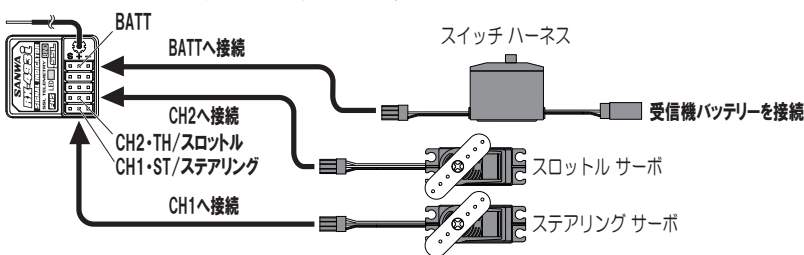
接続について

・下図を参考に受信機、サーボ等を接続してください。

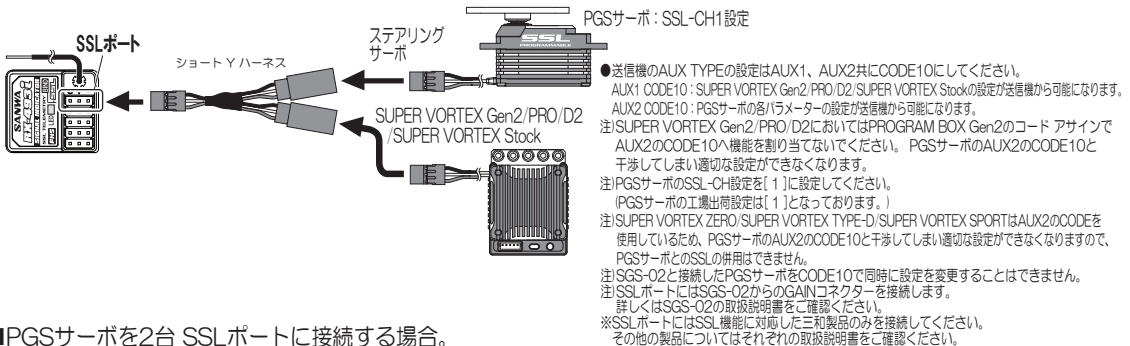
●EPカーに使用する場合の接続例



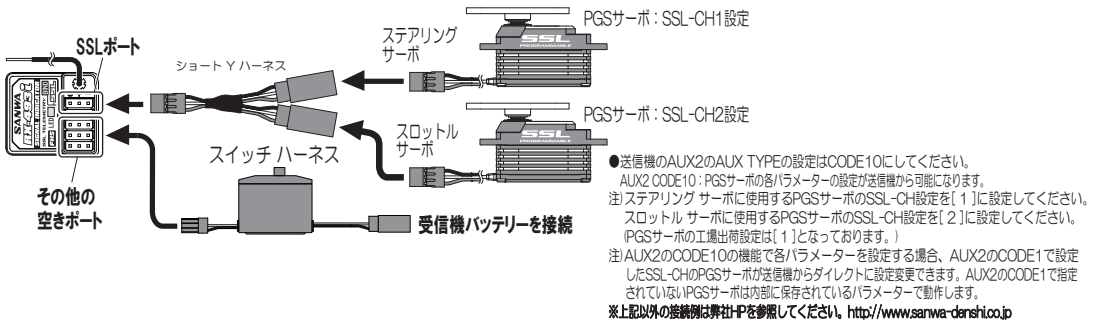
●GP(エンジン)カーに使用する場合の接続例



■PGSサーボとSUPER VORTEX Gen2/PRO/D2/SUPER VORTEX StockをSSLポートに接続する場合。



■PGSサーボを2台 SSLポートに接続する場合。



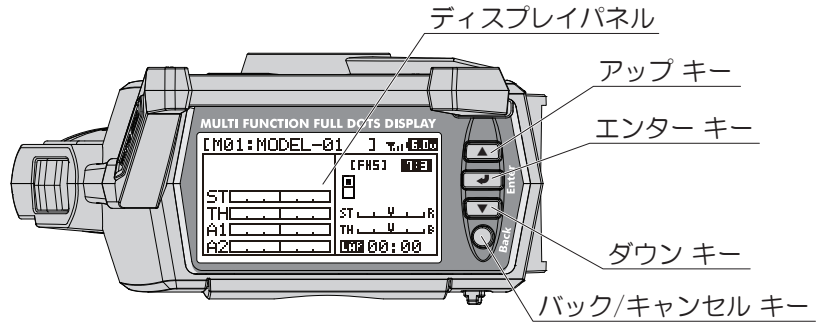
注意

- 走行中の振動でコネクタが抜けると暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクタは確実に接続してください。
 - 受信機は振動、衝撃、水に弱いので防振/防水対策を確実にこなしてください。対策をおこなうと暴走の危険があります。
 - 受信機の取り付けはカーボンシャーシ、金属シャーシから離して取り付けてください。
 - RCカーに搭載している金属/パーツ同士が接触するとノイズが発生し受信性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
 - 電動RCカー用のブラシモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。
 - ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
 - 送信機、受信機、サーボ、FET・ESCスピードコントローラー、送信機バッテリー等のプロポパーツはSANWA純正品をご使用ください。
- ※SANWA純正品以外の組み合わせや当社以外で改造、調整、部品交換などがおこなわれた場合により発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

各機能の使用方法

キー操作について

●それぞれのキーを使用して機能の設定やモデルメモリの呼び出しなどを簡単におこなえます。



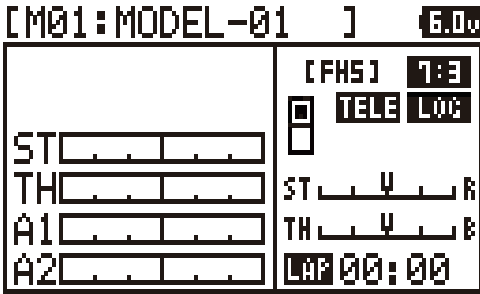
キー操作	名称	動作
	エンター	<ul style="list-style-type: none"> ●トップ画面から設定画面に移動します。 ●設定する機能、項目を選択します。 <p>※エンターを長押しで現在選択している設定項目がリセットされ、初期値に戻ります。</p>
	アップ	<ul style="list-style-type: none"> ●カーソルが上(右)方向へ移動します。 ●設定値が増加します。
	ダウン	<ul style="list-style-type: none"> ●カーソルを下(左)方向へ移動します。 ●設定値が減少します。
	バック/キャンセル	<ul style="list-style-type: none"> ●一つ前の状態に戻ります。 ●設定をキャンセルします。

ディスプレイパネルについて

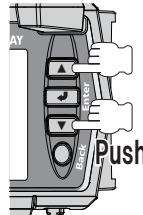
- MT-Rの各機能はそれぞれのキーでダイレクトに選択できるようになっています。
- それぞれのチャンネルを別々に機能の設定をおこなうことができます。
- パワースイッチをONにすると必ずトップ画面から立ち上がります。

各種設定を変更する場合はトップ画面からエンター操作でメニューを選択して設定をおこなってください。

トップ画面



↑ BACK操作
↓ エンター操作



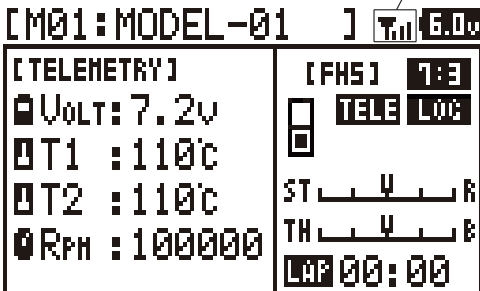
↑
↓
Push

トップ画面でアップ/ダウン操作をおこなうと
トップ画面⇄テレメトリー画面の切り替えに
なります。

テレメトリー通信の際に
アンテナマークが表示されます。

テレメトリー画面

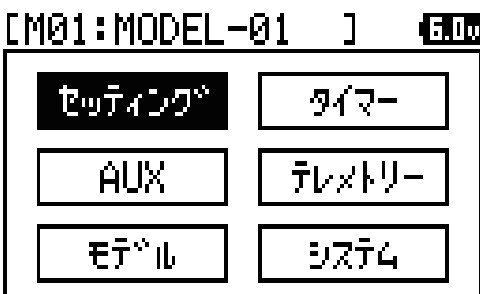
※テレメトリー画面で
ダウンキーを操作
するとテレメトリー
データのMAX値を
表示します。
ダウンキー長押しで
MAX値がクリアされ
ます。



↑ BACK操作
↓ エンター操作

BACK操作↑
エンター操作↓

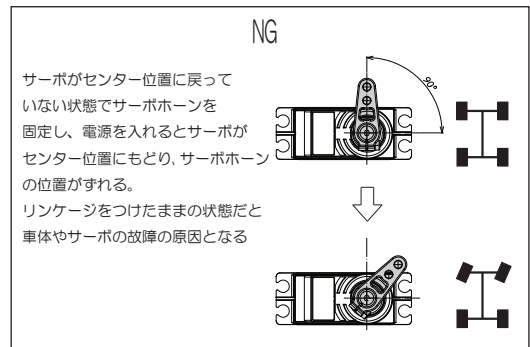
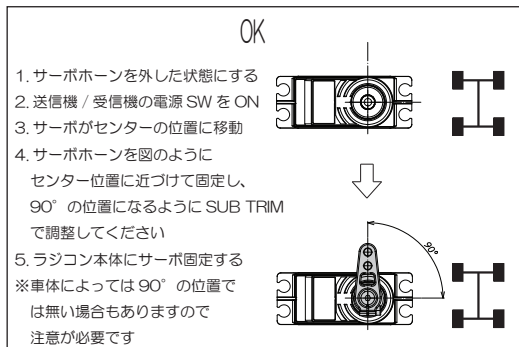
メニューウインド
・設定するメニューを
選びます。(画面例)
※トップ画面から
エンター操作



ラジコンを走行させる前に

サーボホーンを取り付け方

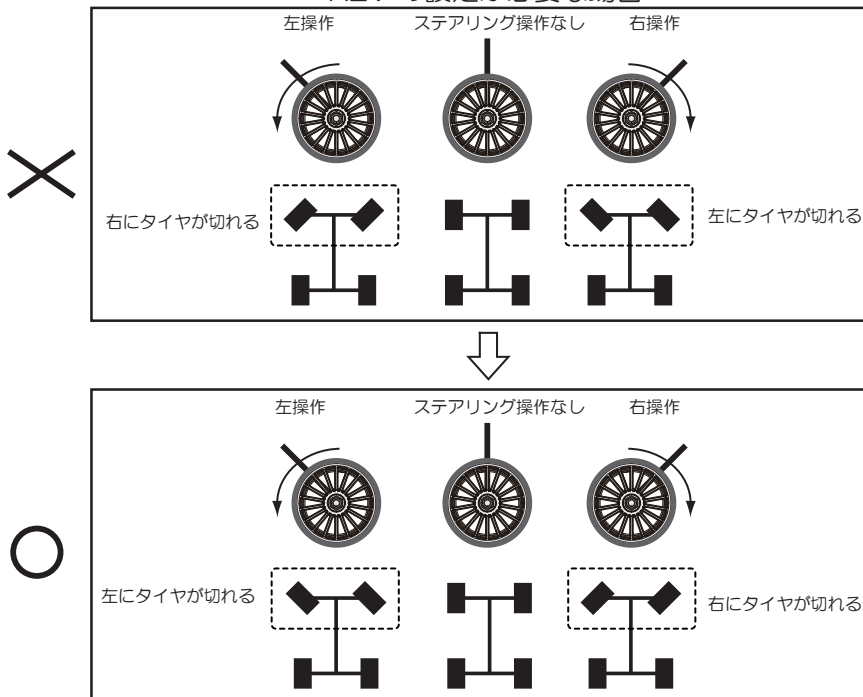
- サーボホーンを取り付ける前に BIND 済みの送信機、受信機の電源スイッチを ON します。
 - サーボが起動し、センターの位置に移動します。
 - 送信機の TRIM と SUB TRIM がセンター（数値が 0）になっていることを確認してください。センターになっていない場合は TRIM 又は SUB TRIM の数値を 0 にしてください。
 - サーボホーンを図のようにセンターの位置に近づけて固定してください。
サーボホーンを固定したら 90° の位置になるように SUB TRIM で調整してください。
- ※車体によっては 90° の位置では無い場合もあります。
車体の取扱説明書に沿ってサーボホーンを取り付けて下さい。



リバース [REV] の設定

- サーボホーン取り付け後、ステアリング操作と同じ方向にタイヤが動作することを確認してください。
- 図のようにステアリング操作と反対にタイヤが動作した場合はリバースの設定をおこなってください。詳細は (P.22) を参照してください。

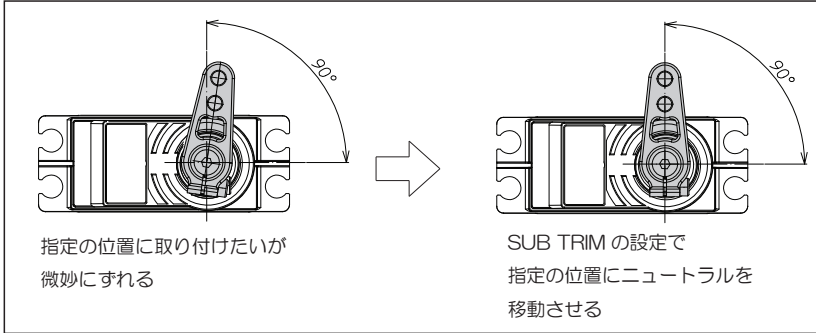
REV の設定が必要な場合



サブトリム [SUB-T] の設定

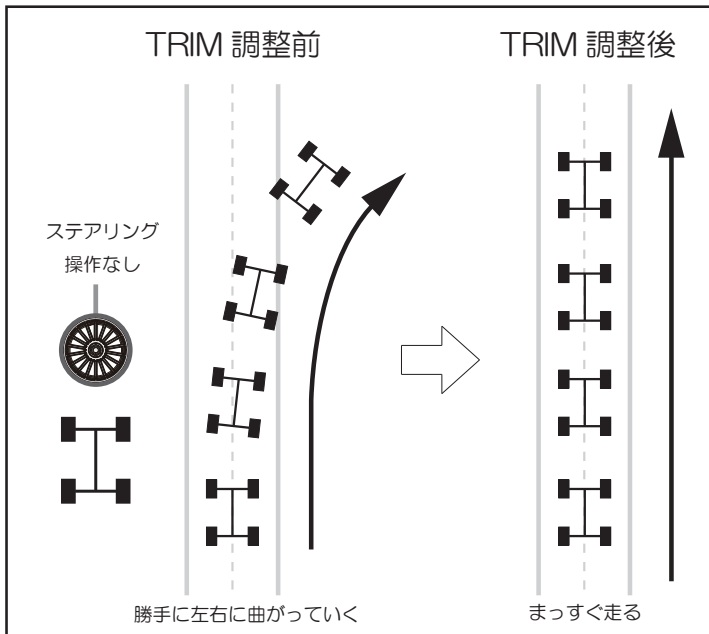
- サーボに対してサーボホーンが 90° 又は車体の取扱説明書の位置に正確に取り付けられず、少しずれた位置にしか取り付けられない場合は図のように SUB TRIM で指定の位置にニュートラルを移動させてください。詳細は (P.22) を参照してください。

SUB TRIM で補正 (例)



サブトリムとトリムの違い

- サブトリムは走行前 (机上) で調整する項目に対してトリムは走行中に下記のような現象が起きた場合に調整します。詳細は (P.22) を参照してください。

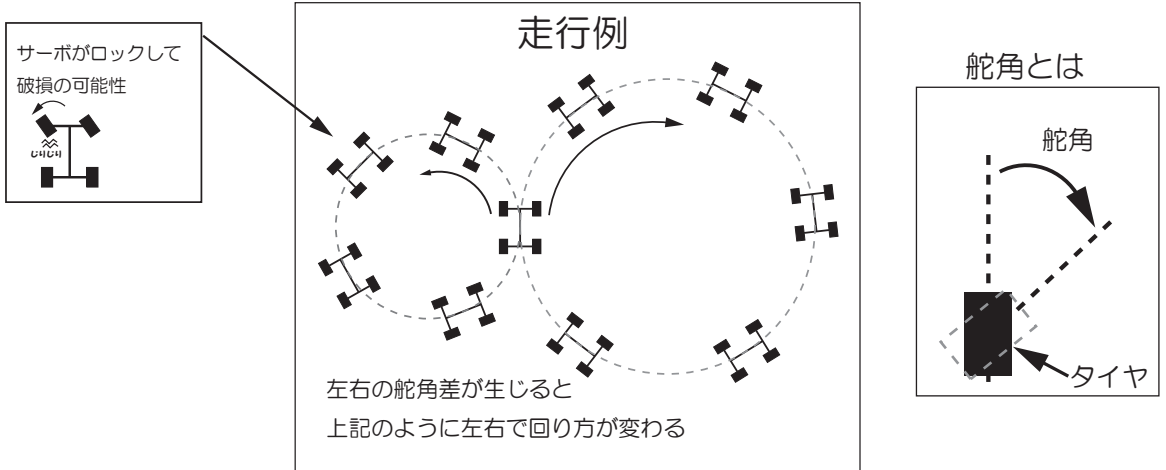


※走行中によるクラッシュ等でまっすぐ走らなくなった場合に使用します。

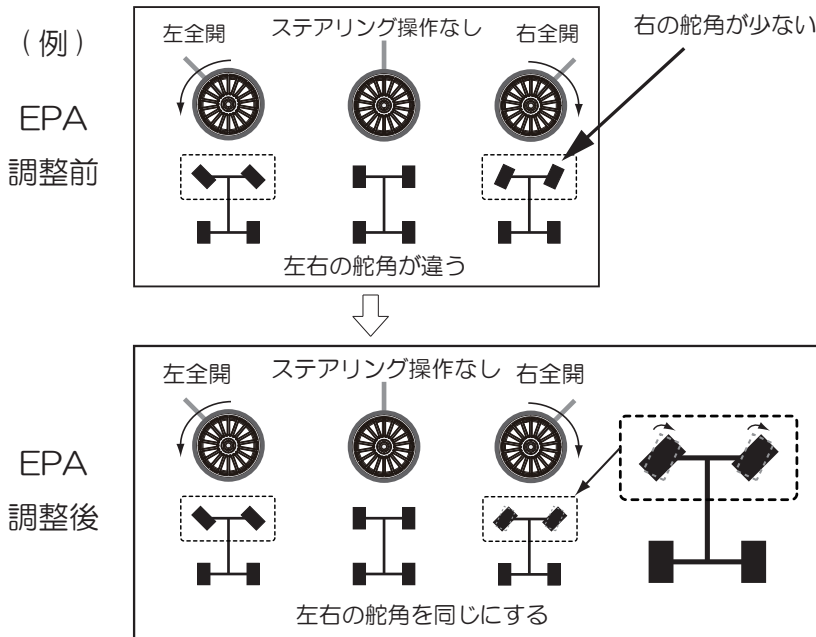
ラジコンを走行させる前に

エンドポイント アジャスト [EPA] の設定

- SUB TRIM の設定後、左右の最大舵角を同じにします。
 ※ EPA の調整ができていないと下記の現象が見られたり、サーボの破損の原因となります
 詳細は (P.23) を参照してください。



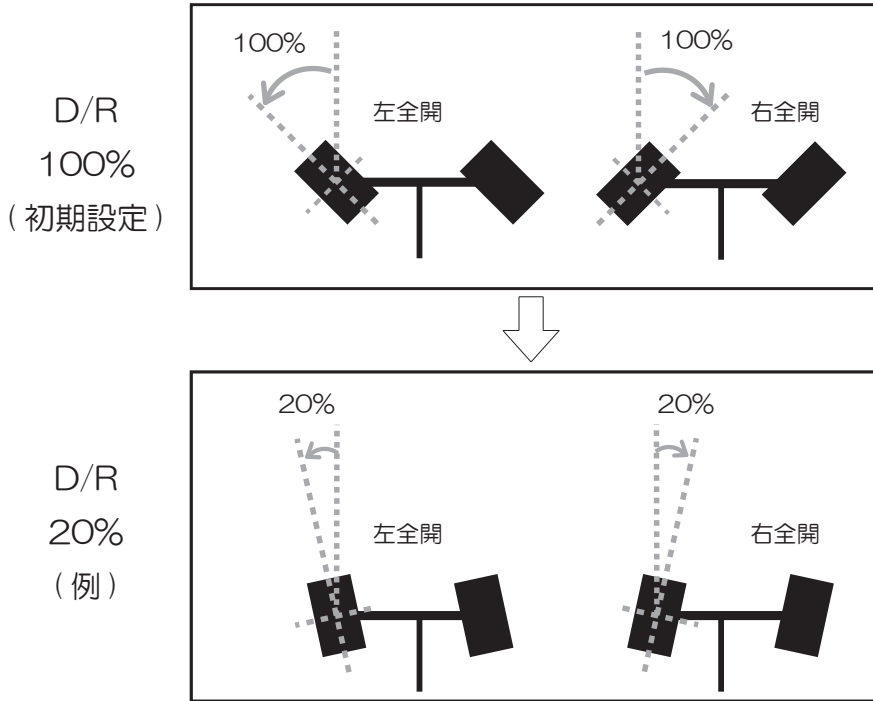
下図のように EPA の設定を行い、最大舵角が左右同じになるように調整してください。



デュアルレート [D/R] の設定

●ステアリング操作の場合

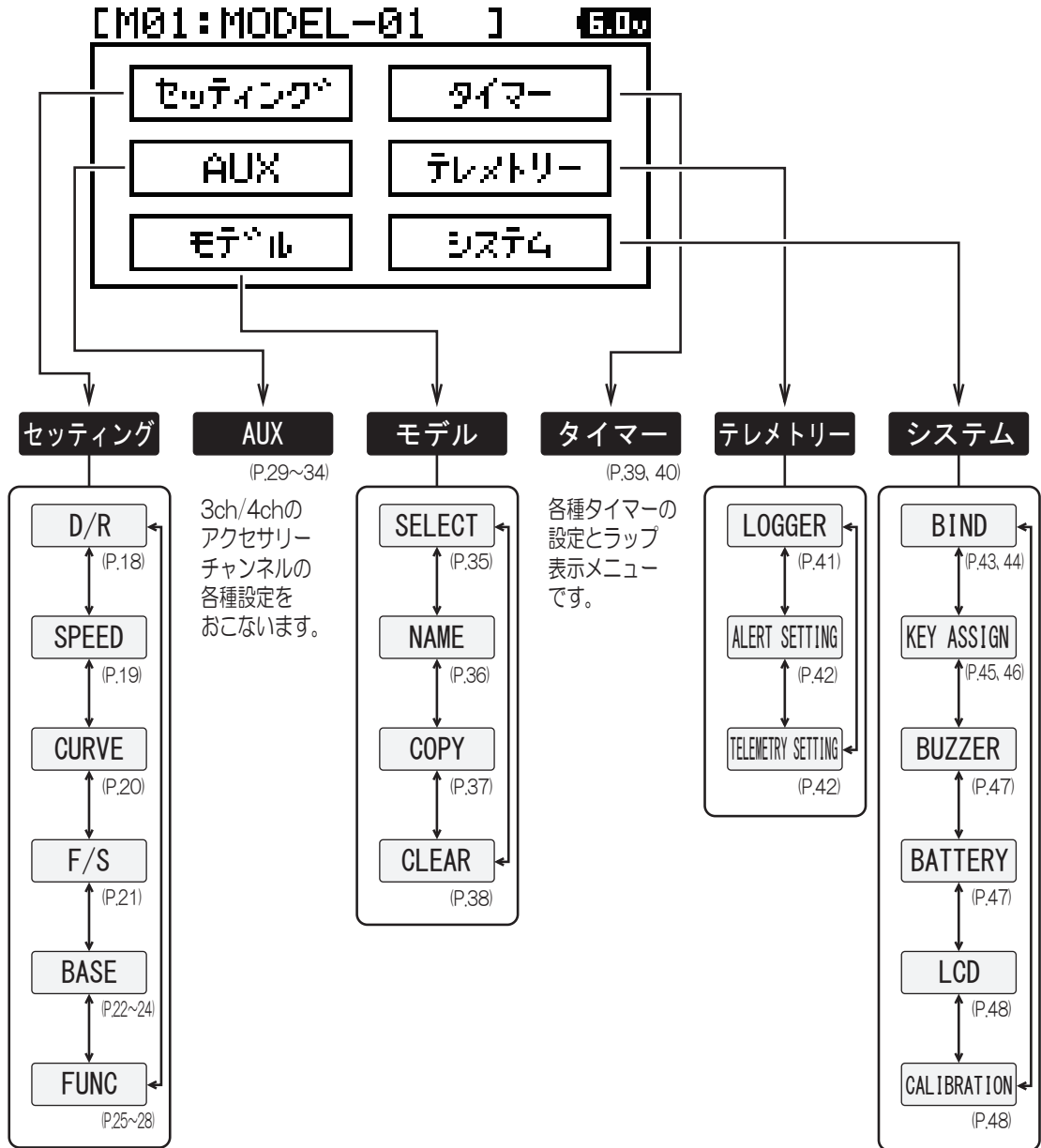
車が曲がりすぎて走らせにくい場合などに送信機で最大舵角を補正する機能です。
EPAは左右それぞれの舵角を調整する機能ですがD/Rは左右共に最大舵角を調整します。
詳細は(P.18)を参照してください。



各機能の使用法

メニュー構成について

- それぞれのキーを使用して、機能の設定やモデルメモリの呼び出しなどを簡単におこなえます。
- メニューはセッティング、AUX、モデル、タイマー、テレメトリー、システムのメニューで構成されており、それぞれのメニュー内に関連する機能が含まれています。



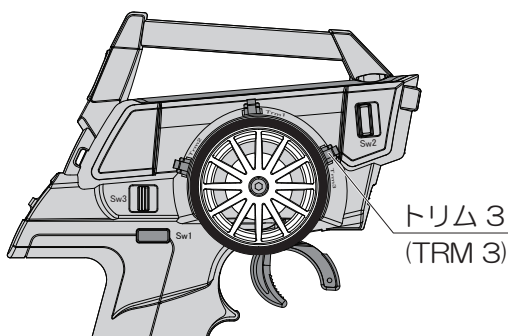
デュアル レート [D/R]

セッティング/SETTING

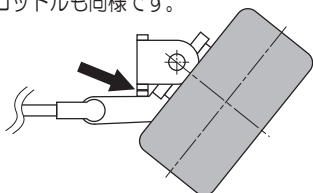
- ステアリング ホイール、スロットル トリガーを最大に操作したときの舵角を調整できます。RCカーや路面コンディションに対応させるために走らせながら調整します。
※ステアリングは左右同時、スロットルはハイ側 / ブレーキ側を別々に調整することが可能です。ブレーキ側もEPAで調整するよりも細かく調整できます。
- ステアリング ホイール / スロットル トリガーを操作してリンケージがロックする状態からデュアル レート (D/R) の設定値を増やさないでください。
- スロットル側のデュアル レートを調整することで、より細かな調整が可能になります。
※A1/A2にカーソルは移動しますが、設定値は調整できません。

- 1) アップキー / ダウンキーで調整する機能 [ST/TH/BR] を選択します。
- 2) エンターキーで調整する機能を決定して、アップキー / ダウンキーで設定値を調整します。
- 3) 走行中のステアリングデュアルレートはトリム3で調整できます。トリムアサイン機能でトリム3にステアリングデュアルレート以外の機能を割り当てるのが可能です。(P.46)
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。
※カータイプによってはトリム3にステアリングデュアルレートが設定されていない場合もあります。

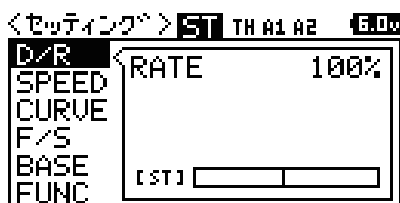
- 設定範囲 ST/TH: 0%~ 100%
BR: 0%~ 120%
- 初期値 ST/TH/BR: 100%



※サーボがロックしてジリジリうならないように注意!
注)スロットルも同様です。

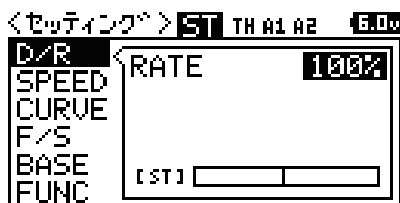


ステアリング デュアル レート 選択画面



↓ ENTER (エンター)

ステアリング デュアル レート 設定画面



注意 ●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボモーター破損の原因になります。

補足

- デュアルレートの調整をおこなう前にステアリング/スロットル リンケージのエンド ポイント アジャストをおこなってください。(P.23, 24)

各機能の使用法

スピード [SPEED]

セッティング/SETTING

- ステアリング / スロットルなどで使用するサーボのスピードを制御する機能です。設定することにより急激な操作をおこなっても RC カーには反応がでないようにすることができます。ステアリング側ではスムーズなコーナークワックが可能となり、スロットル側ではパワーセーブしたスロットルワークでコーナークワックから安定した立ち上がりを実現します。
- ※ AUX の TYPE を [CODE] に設定すると AUX チャンネルのスピード機能を調整しても動作に反映されません。
- ※ AUX チャンネルのスピード設定はステアリング / スロットルを参考にして調整してください。

[ST] ステアリング・スピード

- ステアリング操作に対してステアリング サーボのスピードを遅らせる機能です。ステアリングをきるとき (フォワード) と戻るとき (リターン) のスピードを独立して設定できます。なお、設定より遅いステアリング操作ではスピード機能は働きません。

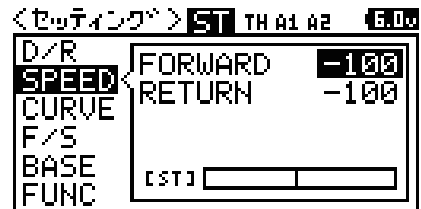
- 1) アップキー / ダウンキーで [ST (ステアリング)] を選択します。
 - 2) フォワード側の設定 (FORWARD)
エンターキーで [FORWARD] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。
- ※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。



- 設定範囲 0 ~ 100
- 初期値 0

- 3) リターン側の設定 (RETURN)
エンターキーで [RETURN] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 0 ~ 100
- 初期値 0



※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値が決まらないときは設定値を 0% (リニア) にしてください。

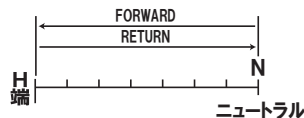
補足

- RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたステアリング操作が重要であり過大操作は禁物です。ステアリング-スピードは無駄な操作をおさえ、スムーズなコーナリングを実現できます。
- ステアリング-スピードとステアリング-カーブを併用するとさらに効果が倍増します。

[TH] スロットル・スピード

- スロットル操作に対してスロットル サーボの動作スピードやスピードコントローラーの反応を遅らせる機能です。スロットルをいれるとき (フォワード) と戻るとき (リターン) のスピードを独立して設定できます。なお、設定より遅いスロットル操作ではスピード機能は動きません。※ハイ側のみ設定となります。

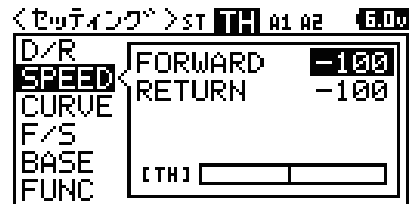
- 1) アップキー / ダウンキーで [TH (スロットル)] を選択します。
 - 2) フォワード側の設定 (FORWARD)
エンターキーで [FORWARD] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。
- ※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。



- 設定範囲 0 ~ 100
- 初期値 0

- 3) リターン側の設定 (RETURN)
エンターキーで [RETURN] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

- 設定範囲 0 ~ 100
- 初期値 0



※実際に走行しながら調整をおこなってください。機能を使用しないときや調整しても設定値がきまらないときは設定値を 0% (リニア) にしてください。

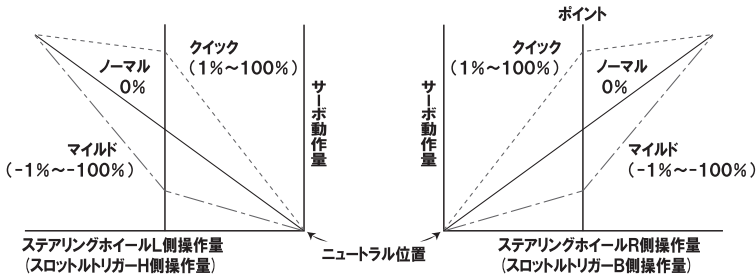
補足

- RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたスロットル操作が重要であり過大操作は禁物です。スロットル-スピードは無駄な操作をおさえ、スムーズな動作を実現できます。
- スロットル-スピードとスロットル-カーブを併用するとさらに効果が倍増します。

カーブ [CURVE]

セッティング/SETTING

- ステアリング ホイール / スロットル トリガーの操作に対してサーボの動作量を可変させる機能です。設定値をプラス (+) 側にするとクイックに。マイナス (-) 側にするとマイルドに反応します。
- MT-Rは直線的な動作のアジャスタブル レート コントロール (ARC) を採用しています。
- ※AUXのTYPEを[CODE]に設定するとAUXチャンネルのカーブ機能は調整できません。
- ※AUXチャンネルのカーブ設定はステアリング / スロットルを参考にして調整してください。
- アジャスタブル レート コントロール (ARC)
ポイント (POINT) を調整することで動作が可変する位置を変えることができます。



[ST] ステアリング・カーブ

- ステアリング特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的にRCカーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に調整し、アンダーステアに感じたときは数値をプラス側に設定します。ステアリング・カーブはL/R同時設定になります。

1) アップキー / ダウンキーで [ST (ステアリング)] を選択します。

2) レートの設定 (RATE)

エンターキーで [RATE] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

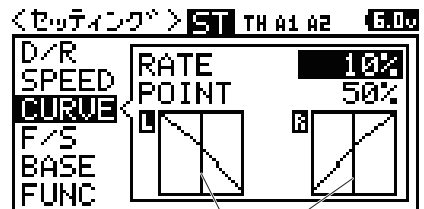
※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

○設定範囲 - 100%~ 100%、○初期値 0%

3) ポイントの設定 (POINT)

エンターキーで [POINT] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

○設定範囲 5 ~ 95%、○初期値 50%



ポイント設定位置

[TH] スロットル・カーブ

- スロットル特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じるときには設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じる際には数値をプラス側に設定します。ハイ側 / ブレーキ側を個別に設定可能です。

※ハイ側 (H) / ブレーキ側 (B) の選択はトリガー操作によっておこないます。

1) アップキー / ダウンキーで [TH (スロットル)] を選択します。

2) レートの設定 (RATE)

エンターキーで [RATE] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

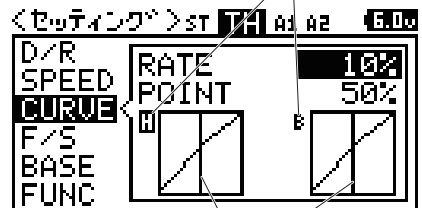
○設定範囲 - 100%~ 100%、○初期値 0%

3) ポイントの設定 (POINT)

エンターキーで [POINT] を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整します。

○設定範囲 5 ~ 95%、○初期値 50%

H/Bはトリガー操作で選択



ポイント設定位置

- ドリフトカーで滑りやすい路面の場合には、H側のポイント [POINT] を20%~30%に設定して、レート [RATE] を-15%~-30%に設定するとスロットル操作がスムーズになりトラクションが掛けやすくなります。※数値は実際に走行させて微調整してみてください。
- ストックモーターなどの場合には、H側のポイント [POINT] を20%~30%に設定して、レート [RATE] を15%~30%に設定するとスロットルの入るタイミングが早くなり加速が良くなります。※数値は実際に走行させて微調整してみてください。

各機能の使用法

フェール セーフ [F/S]

セッティング/SETTING

- フェール セーフとは受信機が送信機からの電波を受信できないような状況になった場合に各チャンネルをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能で、エンジン RC カーで受信機側のバッテリー電圧が設定電圧以下になった場合にスロットルチャンネル (2ch) のサーボをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能がバッテリー フェール セーフです。
 - バッテリー フェール セーフはスロットルチャンネル (2ch) が FREE/HOLD に設定されている場合は設定できません。(※バッテリー フェール セーフはスロットル チャンネルにのみ動作します。)
- ※電動 RC カーではバッテリー フェール セーフの機能は使用しないでください。

1) アップキー / ダウンキーでフェール セーフを設定するチャンネル (ST/TH/A1/A2) を選択します。

2) 設定する [チャンネル] をエンターキーで決定して、アップキー / ダウンキーで調整します。アップキー / ダウンキーを操作するとフェール セーフの設定が FREE → FS → HOLD の順番で切り替ります。

- 設定範囲 FREE/FS(100% ~ -100%)/HOLD
- 初期設定 FREE

※各モードについて

FREE (フリー モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなるとサーボへの信号出力を停止してサーボはフリーの状態になります。

FS (フェール セーフ モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると設定した位置にサーボを保持します。

HOLD (ホールド モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなる直前の位置を保持します。

・FREE/HOLD/FS の各モードは送信機からの信号を再び受信できるようになった場合は自動的に解除します。

3) フェール セーフ (FS) の設定

フェール セーフ モードで動作させる位置に操作して、位置が決定したらエンターキーを長押ししてフェール セーフが働いたときの位置を設定します。

※安全面からフェール セーフの設定はスロットル チャンネルをブレーキ側に設定することをおすすめします。

4) バッテリー フェール セーフの設定

スロットル チャンネルの位置を設定後、カーソルを [B-F/S] に移動して電圧を設定します。

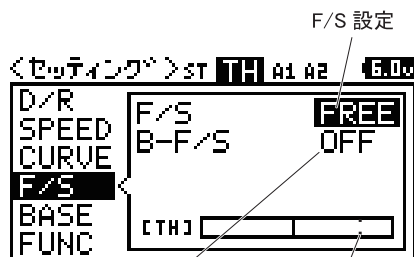
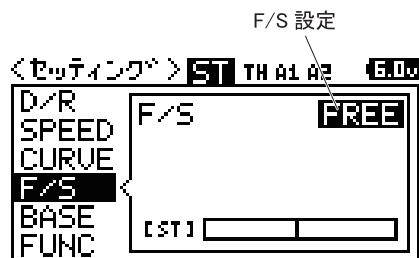
- 設定範囲 OFF、3.5v ~ 7.4v

※バッテリー フェール セーフは GP カーで使用した場合に

受信機バッテリーの電圧が設定した電圧になると

フェール セーフが動作する機能です。

電動 RC カーではバッテリー フェール セーフの機能は使用しないでください。



5) フェール セーフの確認

フェール セーフの設定がおこなわれている状態で送信機の電源を OFF にして、フェール セーフを設定したポジションにサーボが移動するか確認してください。

重要

- フェール セーフについて
フェール セーフ機能をONにした場合は走行前にフェール セーフの設定を確認してください。走行中にフェール セーフの設定を変更しないでください。

ベース [BASE]

セッティング/SETTING

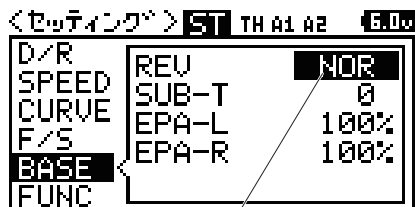
- ベース [BASE] とは RC カーに合わせて各チャンネルのサーボやスピードコントローラー等の動作方向を決めるリバースやニュートラル位置を調整するサブトリム、動作量を設定するエンドポイントアジャスト(EPA)の機能を一つの機能(ベース)に集約させて一括で設定できるようにした機能です。

リバース[REV]

- ステアリング/スロットル/A1/A2 を操作したときに、操作とサーボの動作が逆になる場合に使用します。

- 1) アップキー / ダウンキーで動作方向を変更するチャンネル(ST/TH/A1/A2) を選択します。
 - 2) 設定する [チャンネル] をエンターキーで決定して、アップキー / ダウンキーで調整します。
- ※選択した機能をキャンセルする場合にはバックキーを操作してください。

- 設定範囲 NOR/REV
- 初期値 NOR



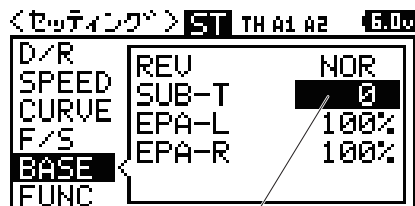
REV設定

サブトリム[SUB-T]

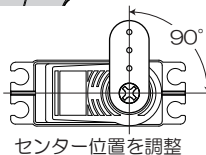
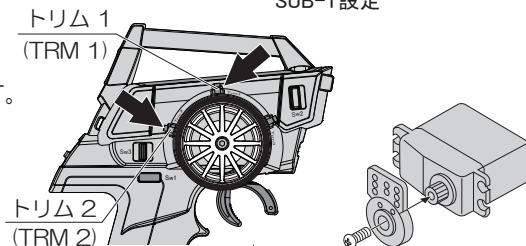
- サブトリム機能を使用してステアリング/スロットル/A1/A2のニュートラル(センター)を補正し、トリムはセンター位置で使用できるようにします。RCカーへサーボを搭載するときにサブトリムでサーボのセンターを出してからエンドポイントアジャストの調整をおこなってください。

- 1) 使用する前に各メイントリムをセンター(0)にしてください。
 - 2) アップキー / ダウンキーでサブトリムの調整をおこなう [チャンネル(ST/TH/A1/A2)] を選択します。
 - 3) エンターキーで設定するチャンネルを決定します。
 - 4) サーボホーン(サーボセーバーホーン)をセンター位置にいちばん近いところに取り付けます。
- ※サーボホーンを取り付け位置については車体側の取扱説明書にしたがってください。
- 5) アップキー / ダウンキーを操作してセンターを調整します。

- 設定範囲 L150 ~ R150(ST)、
H150 ~ B150(TH)、
H150 ~ L150(AUX1, AUX2)
- 初期値 0



SUB-T設定



センター位置を調整

注意

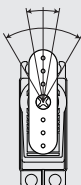
- サーボにサーボホーンを取り付ける際に、できるだけセンターに近い位置でサーボホーンを固定してサブトリムでセンターを出してください。サブトリムと送信機メイントリムが片方にかたよると、ステアリングホイールやスロットルトリガーにレッドバンド(サーボが動かない領域)が発生します。

重要

●トリムとサブトリムについて

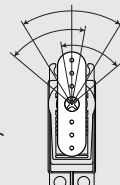
トリムとは、サーボのニュートラル(センター)位置を調整する機能です。ステアリングサーボを車体に搭載後走行させて直進しない場合にステアリングのメイントリムを調整します。
また、エンジンRCカーでのキャブレターのニュートラル位置はサーボ搭載後にリンクージ調整と共にスロットルサーボのニュートラル調整の必要があります。ニュートラル位置の調整はサーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。MT-Rのトリムは動作角の端はそのままでニュートラル位置だけを調整するセンタートリムと動作角の端とニュートラル位置を一緒に動かすパラレルトリムの2種類があります。サーボホーンを固定する前にニュートラル(センター)位置を調整するサブトリムはパラレルトリムで、メイントリムがセンタートリムです。

- センタートリム(メイントリム)
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません。



- パラレルトリム(サブトリム)

トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。リンクージをおこなった後でサブトリムを調整した場合はエンドポイントアジャスト(EPA)の再調整が必要になります。



各機能の使用法

ベース [BASE]

セッティング/SETTING

- ベース [BASE] とは RC カーに合わせて各チャンネルのサーボやスピードコントローラー等の動作方向を決めるリバースやニュートラル位置を調整するサブトリム、動作量を設定するエンドポイントアジャスト (EPA) の機能を一つの機能 (ベース) に集約させて一括で設定できるようにした機能です。

エンドポイントアジャスト[EPA]

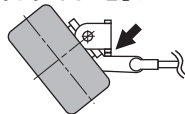
- ステアリングホイール / スロットルトリガーを操作した際のステアリングサーボの左右動作量の調整、スロットルサーボのハイ側、ブレーキ側動作量の調整や AUX1、AUX2 (3ch、4ch) のサーボ動作量の調整が可能です。

[ST-EPA] ステアリング・エンドポイントアジャスト

- リンケージやサスバランス、タイヤ径の違いなどから左右のコーナリング半径が違う事があります。このようなときに左右のサーボ動作量を調整して左右のコーナリング半径が同じになるように調整します。
- 1) ステアリング・エンドポイントアジャスト (ST-EPA) を調整する前にサーボのニュートラル調整 (P.22) をおこなってください。
 - ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。
 - 2) アップキー / ダウンキーで [ST/ ステアリング] を選択します。
 - 3) エンターキーで [ST/ ステアリング] を決定。
アップキー / ダウンキーで [EPA-L/EPA-R] のどちらかを選択してエンターキーで決定します。
 - 4) ステアリングの R 側を設定するときはステアリングホイールを右に操作しながら、L 側を設定するときは左に操作しながら、アップキー / ダウンキーで動作量を調整します。

- 設定範囲 L/R 0 ~ 150%
- 初期値 L/R 100%

※サーボがロックしてジリジリうならないように注意!



<セッティング> ST TH A1 A2 G.D		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	0
CURVE	EPA-L	100%
F/S	EPA-R	100%
BASE		
FUNC		

注意 ●リンケージがロックした状態が長く続くと、サーボ破損の原因になります。

[TH-EPA] スロットル・エンドポイントアジャスト

- FETスピードコントローラーのハイポイント、ブレーキポイントの調整、エンジンカーのキャプレーター、ブレーキ動作量の調整をおこないます。

- 1) エンジンカーの場合にはスロットル・エンドポイントアジャスト (TH-EPA) を調整する前にサーボのニュートラル調整 (P.22) をおこなってください。
- ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。
- 2) アップキー / ダウンキーで [TH/ スロットル] を選択します。
- 3) アップキー / ダウンキーで [EPA-H/EPA-B] のどちらかを選択してエンターキーで決定します。
- 4) ESC・FETスピードコントローラーを調整する場合には通常ハイ側、ブレーキ側共に設定値を100%にしておき、ESC・FETスピードコントローラー側でニュートラル、ハイポイント、ブレーキポイントを設定します。
(ESC・FETスピードコントローラーによって設定方法が異なります。)
エンジンカーでスロットルのH側を設定するときはスロットルトリガーをハイ側に操作しながら、ブレーキ側を設定するときはブレーキ側に操作しながら、アップキー / ダウンキーで動作量を調整します。

- 設定範囲 H/B 0 ~ 150%
- 初期値 H/B 100%

※サーボがロックしてジリジリうならないように注意!



<セッティング> ST TH A1 A2 G.D		
D/R	REV	NOR
SPEED	SUB-T	H100
CURVE	EPA-H	100%
F/S	EPA-B	100%
BASE		
FUNC		

注意 ●スロットルリンケージでキャプレーター全開側、ブレーキ側のEPA設定値が大きすぎるとサーボがロックした状態になりサーボモーターの故障原因となり、暴走の危険があります。

[AUX1-EPA] AUX1・エンドポイントアジャスト

- AUX1 はアクセサリ等の動作に使用でき、EPAにより最大舵角（動作量）の調整が可能です。H(ハイ)/L(ロー) 個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。
- ※ AUX TYPEで AUX1 を [CODE AUX] に設定すると EPA は調整できません。

1) AUX1・エンドポイントアジャスト (A1-EPA) を調整する前にサーボのニュートラル調整 (P.22) をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。

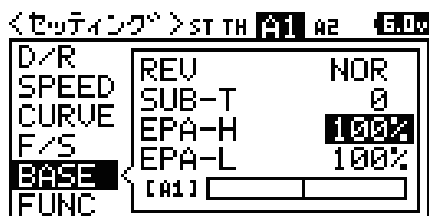
2) アップキー / ダウンキーで [A1] を選択します。

3) エンターキーで [AUX1] を決定。
アップキー / ダウンキーで [EPA-H/EPA-L] のどちらかを選択してエンターキーで決定します。

4) アップキー / ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 H/L 0～150%

○初期値 H/L 100%



[AUX2-EPA] AUX2・エンドポイントアジャスト

- AUX2 はアクセサリ等の動作に使用でき、EPAにより最大舵角（動作量）の調整が可能です。H(ハイ)/L(ロー) 個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。
- ※ AUX TYPEで AUX2 を [CODE AUX] に設定すると EPA は調整できません。

1) AUX2・エンドポイントアジャスト (A2-EPA) を調整する前にサーボのニュートラル調整 (P.22) をおこなってください。
・ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボ ホーンをおおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムでセンター位置をあわせることです。

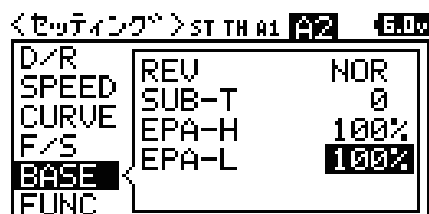
2) アップキー / ダウンキーで [A2] を選択します。

3) エンターキーで [AUX2] を決定。
アップキー / ダウンキーで [EPA-H/EPA-L] のどちらかを選択してエンターキーで決定します。

4) アップキー / ダウンキーで動作量を調整します。

○設定範囲 H/L 0～150%

○初期値 H/L 100%



各機能の使用法

ファンクション [FUNC]

セッティング/SETTING

- ファンクションは各チャンネルのトリムやスロットル チャンネルのALB(アンチ ロック ブレーキ)、OFFSET(オフセット)、TH TYPE(スロットル タイプ) の設定値を調整することが可能です。

トリム[TRIM]

- トリム機能でそれぞれのチャンネル (ST/TH/A1/A2) のニュートラル (センター) を補正します。
- 初期設定ではトリム 1 (TRM1) にステアリング、トリム 2 (TRM2) にスロットルが設定されています。

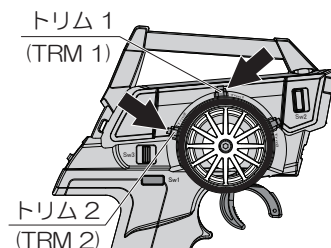
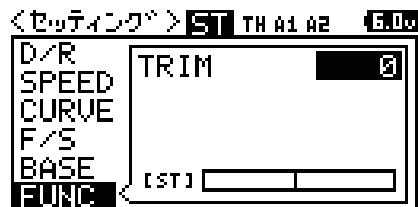
1) アップキー / ダウンキーでトリム調整をおこないます。
[チャンネル (ST/TH/A1/A2)] を選択します。

2) エンターキーで設定するチャンネルを決定して
アップキー / ダウンキーで調整します。

○設定範囲 ST : L100 ~ R100
TH : H100 ~ B100
AUX1 : H100 ~ L100
AUX2 : H100 ~ L100

○初期値 ST : 0
TH : 0
AUX1 : 0
AUX2 : 0

※走行中のトリム調整は TRM1 (ST)、TRM2 (TH) で調整してください。キー アサイン トリム機能でトリムレバーの位置変更が可能です。(P.46)



重要

- トリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル(センター)位置を調整する機能です。
ステアリング サーボを車体に搭載後、走行させて直進しない場合にトリムを調整します。
ニュートラル位置の調整は、サーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。
- リンクージ調整をするときにセンター位置を調整するのはサブ トリムです。(P.22)



- トリムとサブ トリムが片側にかたよると、ステアリング ホイールやスロットル トリガーにデッドバンド(サーボが動かない領域)が発生します。サーボにサーボホーンを取り付ける際にできるだけセンターに近い位置で固定してサブ トリムでセンター出してください。

アンチ ロック ブレーキ[ALB]

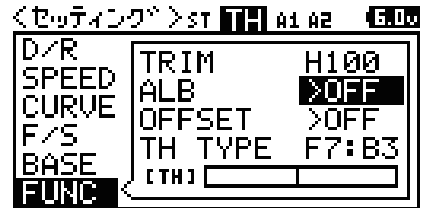
- アンチ ロック ブレーキにより、グリップが低い路面で安定したブレーキングが可能となります。
- ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリング ラインをトレースすることができます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [ALB] を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると [ALB] 設定メニューに切り替ります。

3) ストロークの設定 (STROKE)

アップキー / ダウンキーで ALB のストローク設定をおこないます。
ストロークはブレーキ時の繰り返し動作の幅です。

- 設定範囲 OFF、0 ~ 100%
- 初期値 OFF ※ OFF では ALB は動作しません。

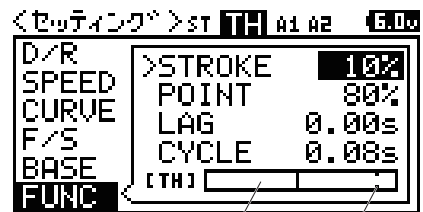


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

4) ポイントの設定 (POINT)

アップキー / ダウンキー ALB のポイント設定をおこないます。
ポイントはブレーキを操作したときに ALB が動作を始める位置です。

- 設定範囲 5% ~ 100%
- 初期値 80%



トリガー操作を表示

POINTの位置

[トリガー操作がこの位置より右側 (B側) にある時にALBが動作]

5) ラグの設定 (LAG)

アップキー / ダウンキーで ALB のラグ設定をおこないます。
ラグはポイントまで操作してから ALB が動作を始めるまでのタイムラグの設定です。

- 設定範囲 0.00s ~ 1.00s
- 初期値 0.00s

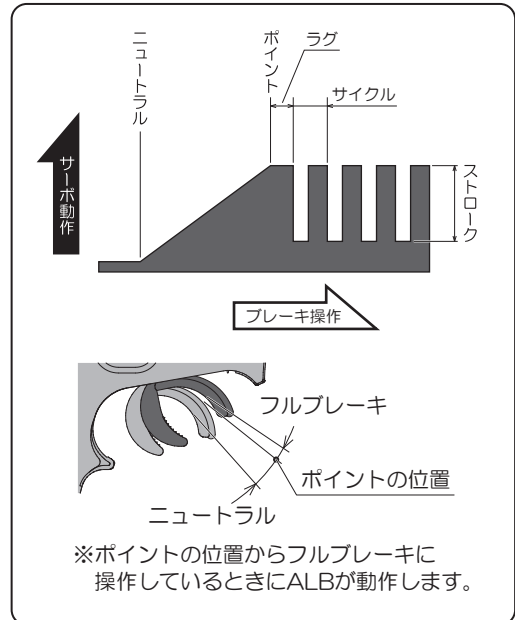
6) サイクルの設定 (CYCLE)

アップキー / ダウンキーで ALB のサイクル設定をおこないます。
サイクルはブレーキ時の繰り返し動作の周期設定です。

- 設定範囲 0.01s ~ 1.00s
- 初期値 0.03s

※スロットルトリガーをブレーキ側に操作してアンチロックブレーキ機能が作動すると送信機のLEDが高速点滅します。

※LEDが点滅するタイミングは設定した値に関係なく一定のタイミングで点滅します。



※ポイントの位置からフルブレーキに操作しているときにALBが動作します。

⚠ 補足

- RCカーのタイヤがグリップ力を失わない(すべらない)程度にブレーキを強めに効かせ、タイヤがロックしてすべる寸前にアンチ ロック ブレーキが働くように調整してください。
- 電動RCカーでバック付きスピードコントローラーを使用してALBを設定するとバックの動作が出来なくなる場合があります。バック動作を使用する場合にはALBをOFFにしてください。

各機能の使用法

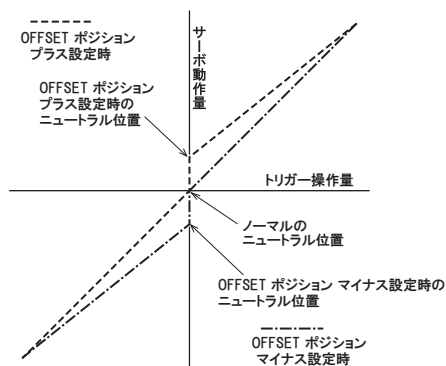
ファンクション [FUNC]

セッティング/SETTING

- ファンクションは各チャンネルのトリムやスロットル チャンネルのALB(アンチ ロック ブレーキ)、OFFSET(オフセット)、TH TYPE(スロットル タイプ) の設定値を調整することが可能です。

オフセット[OFFSET]

- エンジン RC カーのエンジン始動時にスロットル ニュートラルの位置を移動することで、エンジンの始動性が向上します。
- エンジン RC カーの給油時にエンジンが停止しないようにアイドルリングを上げた位置に固定できます。
- 設定したスイッチを操作することで RC ボート等のエンジンを停止させることができます。
- オフセット機能で様々なパワーソースに対応できます。
- オフセット機能の ON/OFF をスイッチに割り当てて動作させることができます。

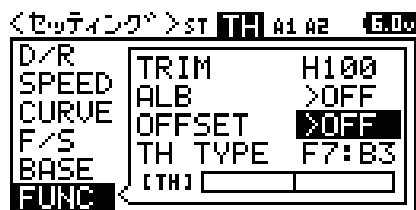


- 1) アップキー / ダウンキーで [OFFSET] を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると [OFFSET] 設定メニューに切り替えます。
- 3) オフセットの設定 (OFFSET)
アップキー / ダウンキーでオフセット機能の ON/OFF 設定をおこないます。

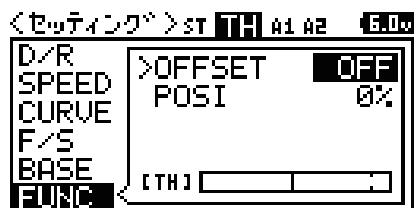
- 設定範囲 ON/OFF
- 初期値 OFF

- 4) ポジションの設定 (POSI)
アップキー / ダウンキーでオフセット機能のポジション設定をおこないます。

- 設定範囲 H100% ~ B100%
- 初期値 0%



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



スロットル タイプ[TH TYPE]

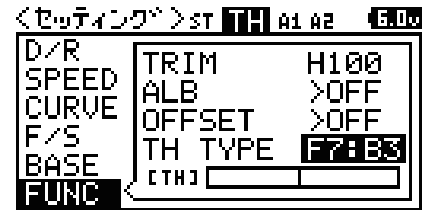
- エンジンRCカーのエンジン始動時にスロットル ニュートラルの位置を移動することで、エンジンの始動性
- スロットルのニュートラル位置を移動して、前進側とブレーキ（後進）側の動作比率を7：3か5：5のどちらかに設定できます。

※使用するスピードコントローラー等に合わせてスロットル タイプの設定をおこなってください。

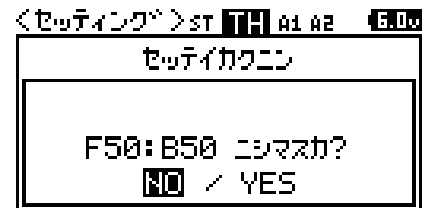
- 1) アップキー / ダウンキーで [TH TYPE] を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると [TH TYPE] 設定メニューに切り替ります。
- 3) スロットルタイプ設定
アップキー / ダウンキーでスロットル タイプの設定をおこないます。

- 設定範囲 F 7 : B 3 / F 5 : B 5
- 初期値 F 7 : B 3

※ TH TYPE を変更すると確認画面へ移行して画面上にメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



- ・NO →スロットル タイプ変更キャンセル
- ・YES →スロットル タイプ変更確定

各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵:同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、
AUX-MIX(AUX ミキシング: ST → AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

ステップ エーユーエックス[STEP AUX]

- ステップAUX機能の設定により、割り当てたトリムやスイッチの操作により動作量を設定できます。
- 工場出荷時にはAUX機能はステップAUXに設定されています。

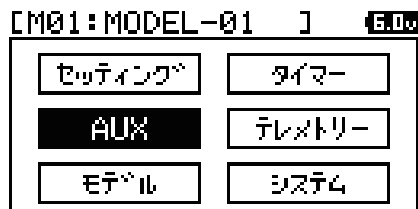
- 1) アップキー / ダウンキーで[AUX]を選択します。
- 2) エンターキーで決定すると[CH]設定メニューに切り替ります。
※アップキー / ダウンキーでCH ⇄ SETの切り替えになります。
- 3) ステップエーユーエックスの設定(STEP AUX)
エンターキーで[CH]を決定して、AUX1/AUX2の動作ポジションをアップキー / ダウンキーで設定します。
※動作量はEPA(エンドポイントアジャスト P.24)でも設定可能です。

- 設定範囲 H100%~L100%
- 初期値 0%

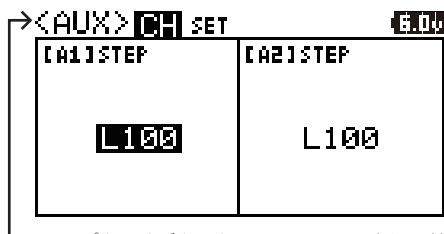
- 4) モードの設定(MODE)
エンターキーで[SET]を決定して、AUX1/AUX2の動作ステップ数を使用法に合わせて設定します。

- 設定範囲 1/2/5/10/20/25/50/100
- 初期値 5

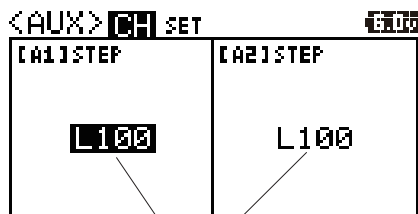
- ※SETではAUXのTYPE設定とMODE設定が可能で、キーアサイン機能(P.45)へのショートカットがあります。
- ※使用方法にあわせてキーアサインで機能を割り当ててください。



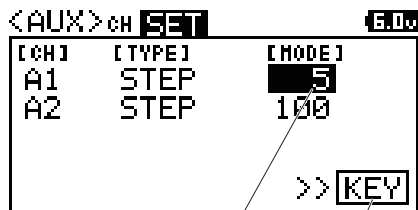
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



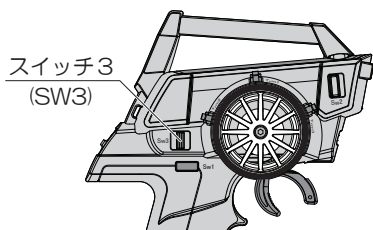
アップキー / ダウンキーでCH ⇄ SETを切り替え
CHを選択し、エンターキーで選択



動作ポジション表示



ステップ設定
キーアサインへのショートカット



ポイント エー ユー エックス[POINT AUX]

●ポイント AUX を設定することで、AUX1/AUX2(3ch/4ch) の動作をスイッチ3やトリムに割り当てることでポイント1、ポイント2、ポイント3のポジションハサーボを動作させることができます。

動作したポイントはEPA(エンドポイントアジャスト)で設定できますので、使用方法にあわせてポイント位置を調整してください。

※ポイント数は3ポイント固定になります。

- 1) アップキー / ダウンキーで [AUX] を選択します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (POINT)
アップキー / ダウンキーでエー ユー エックス タイプの設定で [POINT] を選択します。
- 4) ポイントとポイント設定値の調整
A1/A2 設定する設定値にカーソルをあわせませす。
エンターするとアップキー / ダウンキーでポイントを選択します。
設定するポイントでエンターするとそのポイントの設定値を調整できます。

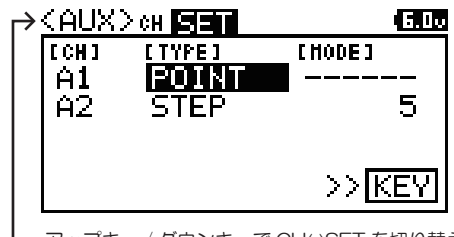
○設定範囲 L100 ~ H100

- ※ AUX1/AUX2(3ch/4ch) それぞれのエー ユー エックス タイプの設定が可能です。
- ※それぞれのポイントでの動作量はEPA(エンドポイントアジャスト P.24)でも設定可能です。
- ※使用方法にあわせてキーアサインでSW3やトリムに機能を割り当ててください。

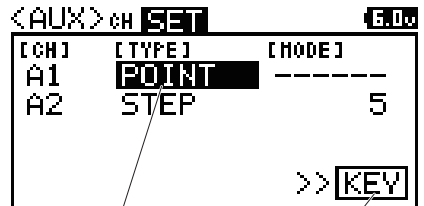
[M01 : MODEL-01] 6.0v



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)

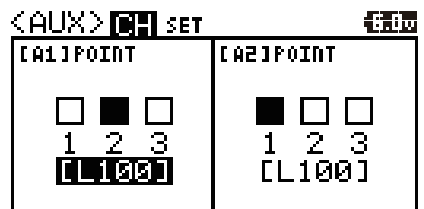
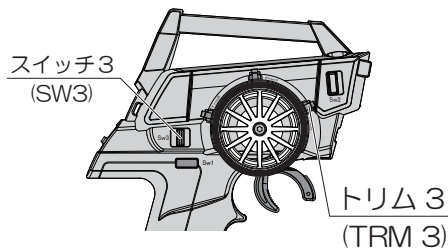


アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET を切り替え
SET を選択し、エンターキーで選択



タイプ切り替え

キーアサインへの
ショートカット



各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

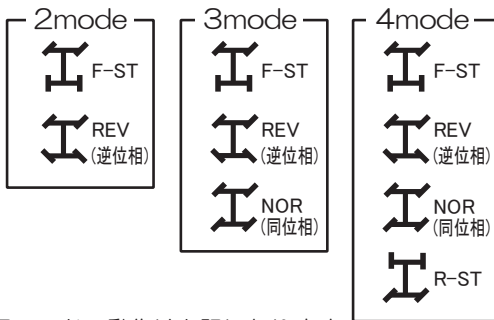
- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵:同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、AUX-MIX(AUX ミキシング: ST → AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

4 ホイール ステアリング(4輪操舵:同位相/逆位相)[4WS]

- 割り当てたトリムやスイッチの操作により4ホイールステアリング(4輪操舵)の動作を制御します。

- 1) アップキー / ダウンキーで [AUX] を選択します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (4WS)
アップキー / ダウンキーでエーユーエックス タイプの設定で [4WS] を選択します。
- 4) モードの設定
4WSの動作モードを設定します。
使用方法にあわせて動作モードを設定してください。

- 設定範囲 2mode/3mode/4mode
- 初期値 4mode

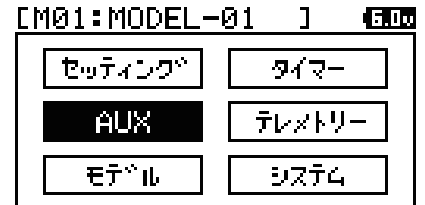


※各モードの動作は上記になります。

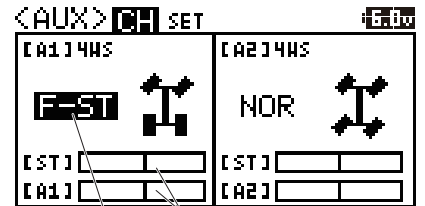
- 5) 動作モードの設定
動作モードの設定でエンターしてアップキー / ダウンキーで動作モードを切り替えます。
※走行しながら使用する場合にはトリムかスイッチに動作モードの機能を割り当てて使用してください。

- 設定範囲 F-ST/REV/NOR/R-ST

- ※SET で設定したモードの設定によって動作モードが切り替わります。
- ※リアステアリングサーボはTYPEを4WSに設定したチャンネル(AUX1/AUX2)が動作します。
動作量はEPA(エンドポイントアジャスト P.24)で設定してください。

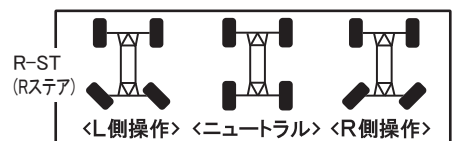
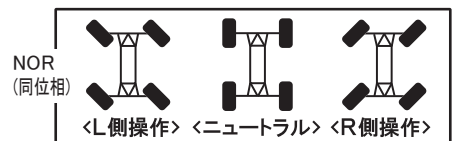
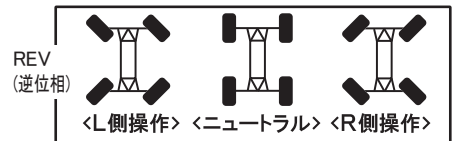
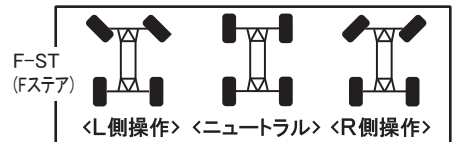


アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET を切り替え
SET を選択し、エンターキーで選択



サーボモニター
動作モードの切り替え

[ステアリング動作イメージ]



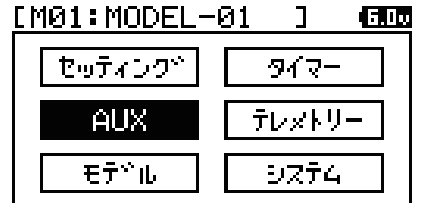
モーター オン アクスル[MOA] (前後別駆動)

●モーター オン アクスル (MOA) を設定することで前後2モーター仕様の車体で前後の駆動比を調整することができます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [AUX] を選択します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
- 3) タイプの設定 (MOA)
アップキー / ダウンキーでエーユーエックスタイプの設定で [MOA] を選択します。
- 4) モードの設定
MOA の前後駆動配分を調整するステップを設定します。
使用方法にあわせてステップを設定してください。

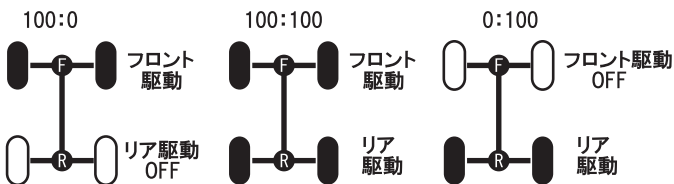
- 設定範囲 1/2/5/10/20/25/50/100
- 初期値 10

※リアモーターを制御するスピードコントローラーは TYPE を MOA に設定したチャンネル (AUX1/AUX2) に接続してください。
 ※使用方法にあわせてキーアサインでトリムやスイッチにステップの機能を割り当てるか、アップキー / ダウンキーで操作をおこなってください。

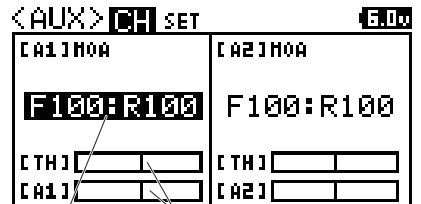


アップキー / ダウンキーで CH⇄SET を切り替え
SET を選択し、エンターキーで選択

[MOA動作イメージ]



※比率を変更することで前後の駆動比を調整できます。



サーボモニター
前後駆動比

各機能の使用法

エーユーエックス

エーユーエックス/AUX

- エーユーエックスはAUX1、AUX2(3ch、4ch)の動作を設定する機能です。
STEP AUX(ステップ)、POINT AUX(ポイント)、4WS(4輪操舵:同位相、逆位相)、MOA(前後別駆動)、
AUX-MIX(AUX ミキシング: ST → AUX/TH-AUX)、CODE-AUX(コード通信)から選ぶことができます。

エーユーエックス ミキシング[AUX-MIX]

- エーユーエックス ミキシングを設定することでステアリングからAUXに、スロットルからAUXにミキシングをかけることができます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [AUX] を選択します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで CH⇄SET の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (AUX-MIX)
アップキー / ダウンキーでエーユーエックス タイプの設定で [AUX-MIX] を選択します。
- 4) モードの設定
ミキシングの動作モードを設定します。
使用方法にあわせて動作モードを設定してください。

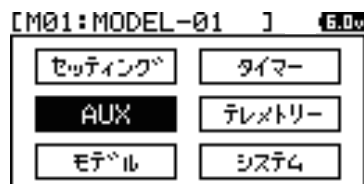
- 設定範囲 ST-mix/TH-mix
- 初期値 ST-mix

- ※ST-mix はステアリングからAUXにミキシングがかかり、TH-mix はスロットルからAUXにミキシングがかかります。

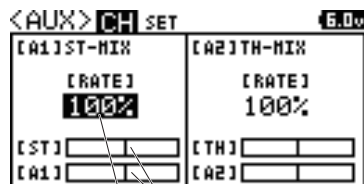
- 5) ミキシング レートの設定
ミキシング設定画面でエンターしてアップキー / ダウンキーでミキシング レートを設定します。

- 設定範囲 0 ~ 100%
- 初期値 100%

- ※使用方法にあわせてキーアサインでトリムやスイッチにミキシング レートの機能を割り当てるか、アップキー / ダウンキーで操作をおこなってください。



アップキー / ダウンキーで CH⇄SET を切り替え SET を選択し、エンターキーで選択



サーボモニター
ミキシング レートの設定

コード エー ユー エックス[CODE AUX]

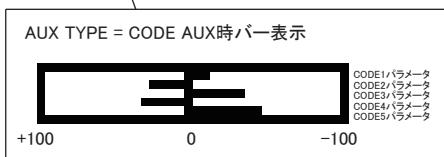
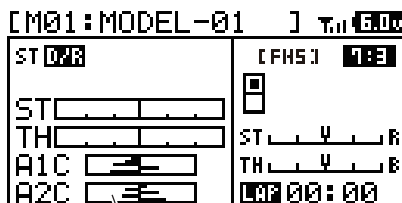
- コード エー ユー エックス (CODE AUX) の機能は CODE1 ~ CODE10 に設定値を割り当てることでコード通信をおこなう機能です。
CODE AUX に対応するスピードコントローラ (SUPER VORTEX シリーズ、PGS サーボシリーズ) や ジャイロ システム (SGS-02) などの設定を変更するための拡張機能です。
- コード AUX 1 とコード AUX2 の 2 系統の設定が可能です。
- ※ AUX チャンネルをコード AUX として使用する場合には、BIND 設定の A1/A2 のレスポンスモードは必ず [SHR] に設定してください。(P.43 参照)
- ※コード AUX を使用している場合には対応する受信機の CH3、CH4 には絶対にサーボを接続しないでください。

- 1) アップキー / ダウンキーで [AUX] を選択します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (CODE AUX)
アップキー / ダウンキーでエー ユー エックス タイプの設定で [CODE] を選択します。
※ CODE は CODE10 を使用する場合に選択します。
※ MT-R は CODE5 に対応しておりません。
※ SV-ZERO/SV-SPORT/SV-TYPED/SGS-01C/SGS-01D 等の CODE5 には対応しておりません。
- 4) モードの設定
モードの設定を使用する機器に合わせて設定することでコード AUX の機能表示が機器の設定にあわせた表示に切り替ります。
使用機器にあわせてモードを設定してください。

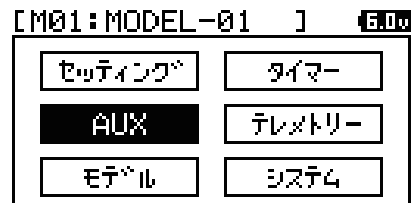
- 設定範囲 CODE/SV-G/D(AUX1 のみ)
/PGS/SGS-02(AUX2 のみ)
- 初期値 CODE

- 5) コード AUX の設定
設定画面でエンターして設定変更するコード AUX を選択してアップキー / ダウンキーで設定値を調整してください。

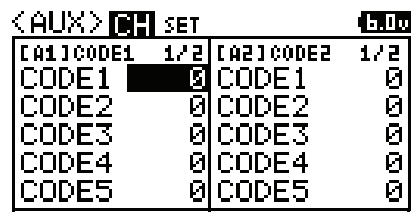
- ※ AUX TYPE が CODE に設定されている場合にトップ画面でのサーボモニター表示部が CODE AUX の設定状態が下記のように表示されます。



- ※CODE6~10はTOP画面には表示されません。
AUXメニューにある表示を確認してください



アップキー / ダウンキーで CH ⇄ SET を切り替え
SET を選択し、エンターキーで選択



MODE設定が[CODE]の場合

各機能の使用法

モデルメニュー

モデル/MODEL

- モデル セレクト、モデル ネーム、モデル コピー、モデル クリアについての機能が設定できます。
- 大容量 EEPROM を内蔵しており、MO1 ~ M20 の20モデル分のデータを記憶することができます。

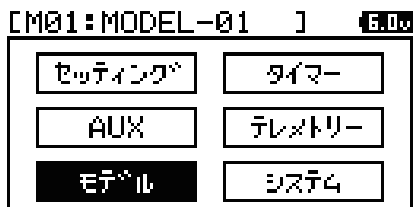
モデル セレクト[MODEL SELECT]

- 記憶されているMO1 ~ M20のモデル データを簡単に呼び出すことができます。

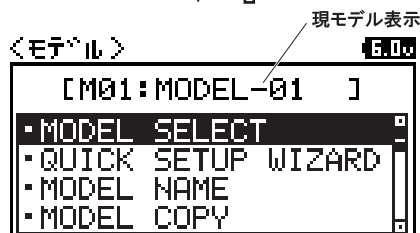
- 1) アップキー / ダウンキーで [モデル] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル セレクトの設定 (MODEL SELECT) アップキー / ダウンキーで [モデル セレクト] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) モデルの選択
アップキー / ダウンキーで呼び出したいモデルを選択します。

○設定範囲 MO1 ~ M20

- 4) 呼び出すモデルにカーソルを移動し、エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがって操作してモデルセレクトをおこなってください。

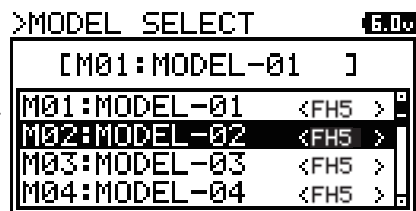


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



①モデル 画面

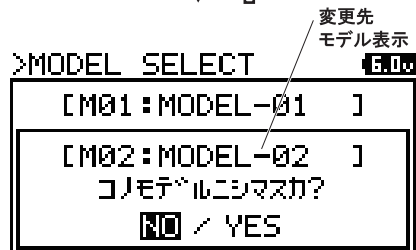
ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



②MODEL SELECT 画面

使用したい MODEL を選択

ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



③確認画面

使用したい MODEL を決定

- ・NO →②に戻る
- ・YES→モデルを変更し②に戻る

補足

- MT-Rはダイレクト モデル セレクトの機能を装備しています。バック/キャンセル ボタンを押しながら送信機のパワースイッチをONすると、MODEL SELECT画面からスタートしますので使用するモデルを簡単に呼び出すことができます。

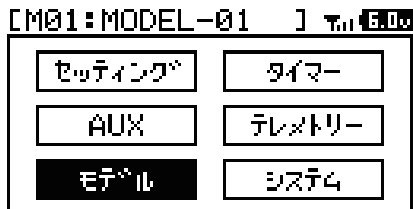
モデル 名前[MODEL NAME]

●各モデルにアルファベット、数字、カナ、記号を 10 文字までモデル 名前を登録できます。

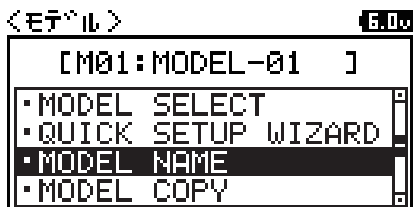
- 1) アップキー / ダウンキーで [モデル] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル 名前の設定 (MODEL NAME)
アップキー / ダウンキーで [モデル 名前] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) モデル 名前の設定
アップキー / ダウンキーでカーソル " _ " を文字入力する位置に移動します。位置が決定したらエンターキーを押してカーソル位置を決定します。
" _ " は移動時には点滅、決定時には点灯します。
- 4) アップキー / ダウンキーで入力する文字を選択します。
入力する文字が決定したらエンターキーで入力します。
※選択した文字を変更する場合や文字入力位置のカーソルを移動する場合はバックボタンを押して動作をキャンセルしてください。

○設定範囲 A～Z、a～z、数字 / 記号、ア～ん、ア～っ、

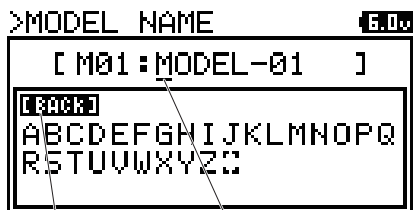
- 5) 3)、4) を繰り返して文字を入力します。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

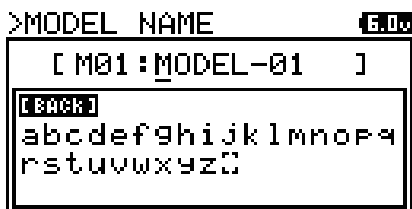


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

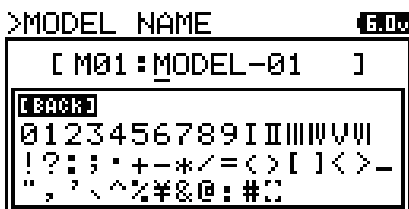


入力文字選択カーソル
文字位置カーソル(カーソル移動時は点滅)

アルファベット小文字



数字、記号



カタカナ



カタカナ小文字



各機能の使用法

モデルメニュー

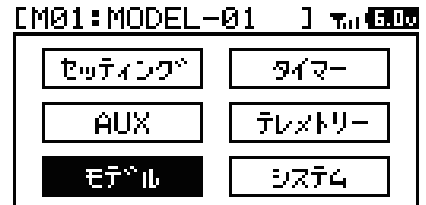
モデル/MODEL

- モデル セレクト、モデル ネーム、モデル コピー、モデル クリアについての機能が設定できます。
- 大容量 EEPROM を内蔵しており、M01 ~ M20 の 20 モデル分のデータを記憶することができます。

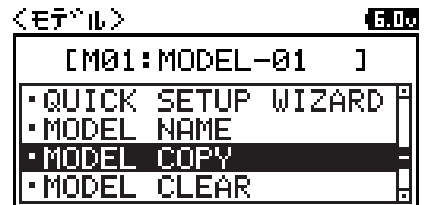
モデル コピー [MODEL COPY]

- 選択しているモデルのデータを他のモデルにコピーすることができます。

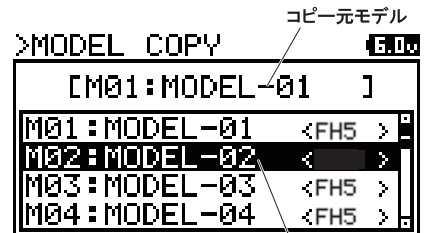
- 1) アップキー / ダウンキーで [モデル] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル コピーの設定 (MODEL COPY)
アップキー / ダウンキーで [モデル コピー] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) コピー先モデルの選択
アップキー / ダウンキーでコピー先モデルを選択します。
※コピー元モデルはモデル セレクトされているモデル データになります。
- 4) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示に当たって操作してモデル コピーをおこなってください。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

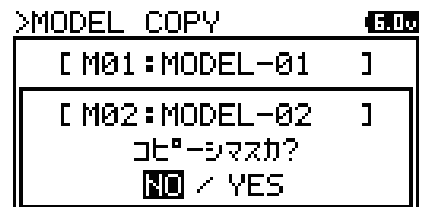


ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



①コピー先選択

コピー先モデル



②コピー確認画面

・NO →①に戻る
・YES→③に移行
(コピー実行)



③コピー中

・コピー後①に戻る

モデル クリア[MODEL CLEAR]

●選択しているモデルの設定データをクリア（初期化）する機能です。

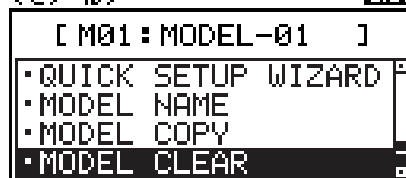
- 1) アップキー / ダウンキーで [モデル] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) モデル クリアの設定 (MODEL CLEAR) アップキー / ダウンキーで [モデル クリア] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) エンター操作をおこなうと画面上にメッセージが表示されますので、表示にしたがってモデル クリアをおこなってください。

[M01:MODEL-01] 5.00



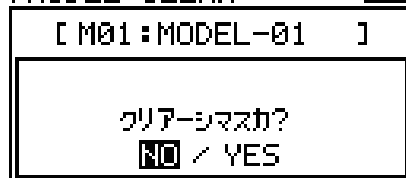
ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

<モデル> 5.00



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

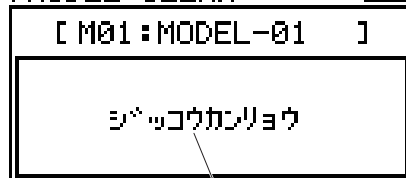
>MODEL CLEAR 5.00



①確認画面

・NO →MODEL画面に戻る
・YES→クリア-実行 ②へ

>MODEL CLEAR 5.00



②クリア処理中

2回点滅表示後
<モデル>画面に戻る

各機能の使用法

タイマーメニュー

タイマー/TIMER

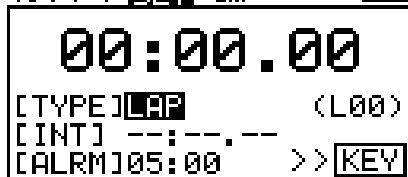
- ラップタイマー、インターバルタイマー、ダウンタイマーの3つのタイマー機能を備えています。
- タイマーを選択するとSET画面に移行して、SET画面でアップキー/ダウンキーを操作するとSET画面とLAP画面の表示が切り替わります。

[M01:MODEL-01] 6.0v



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

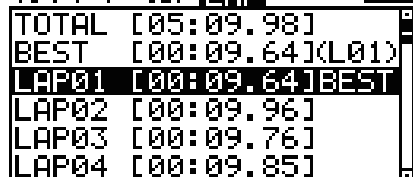
<タイマー> SET LAP 6.0v



<SET画面>



<タイマー> SET LAP 6.0v



<LAP画面>

- LAP画面で計測したラップタイムを確認することができます。
 - ラップタイマーが停止している状態でアップキー/ダウンキーを操作してラップを選択します。
- ※計測したラップタイムの中でのベストタイムには[BEST]と表示されます。

ラップタイマー[LAP TIMER]

- 99周までの各ラップ計測、記録ができます。(モデル共通)

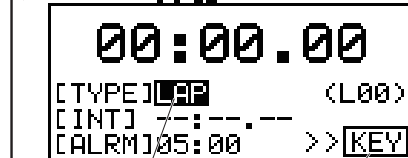
- 1) アップキー/ダウンキーで[タイマー]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) エンターキーで決定して[SET]設定メニューに切り替えます。
※アップキー/ダウンキーでSET ⇄ LAPの切り替えになります。
- 3) タイプの設定(TYPE)
アップキー/ダウンキーでTYPEの設定を[LAP]に設定してエンターキーで決定します。
- 4) ゴールタイムの設定
アップキー/ダウンキーでゴールタイム(ALRM)を設定します。
○設定範囲 00:01 ~ 99:59
00:01 単位
○初期値 05:00
- 5) タイマーのスイッチは初期値でSW1に設定されています。
SW1を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度SW1を押すかスロットルトリガーを操作すると計測がスタートします。
- 6) SW1を押すたびにラップタイムが計測されます。
SW1を押してから3秒間はスイッチが動きません。
- 7) 計測終了
SW1を長押しすると計測が終了します。
又はゴールタイム後にSW1を押すと計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチをOFFにするとタイマーがリセットされます。(LAPのデータは残ります。)
※SW1にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。

[M01:MODEL-01] 6.0v



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

<タイマー> SET LAP 6.0v

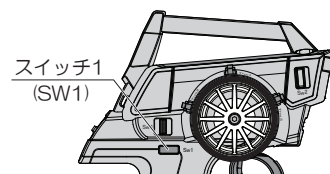


タイプ切り替え

キーアサインへの
ショートカット

アップキー/ダウンキーでSET ⇄ LAPを切り替え

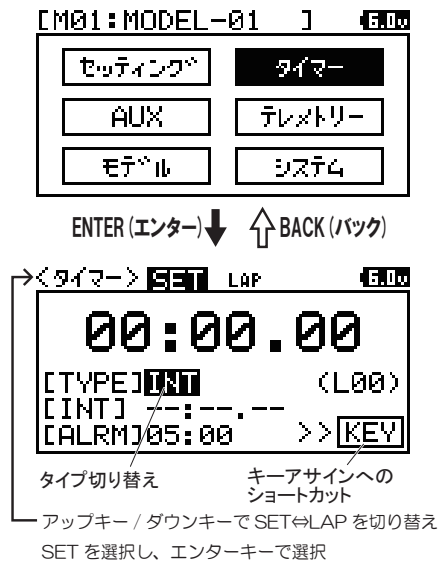
SETを選択し、エンターキーで選択



インターバル タイマー[INT TIMER]

●走行時に設定したタイムでアラームを鳴らし、目標タイムの目安とします。

- 1) アップキー / ダウンキーで [タイマー] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで SET ⇄ LAP の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (TYPE)
アップキー / ダウンキーで TYPE の設定を [INT] に設定してエンターキーで決定します。
- 4) インターバル タイマーの設定値を調整します。
○設定範囲 00 : 00, 01s ~ 99 : 59, 99
○初期値 00 : 00, 00
※00 : 00, 00 ではインターバル タイマーは動作しません。
- 5) タイマーのスイッチは初期値で SW1 に設定されています。
SW1 を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度 SW1 を押すかスロットル トリガーを操作すると計測がスタートします。
- 6) SW1 を押すたびにインターバル タイマーがリセットされます。
- 7) 計測終了
SW1 を長押しすると計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチを OFF にするとタイマーがリセットされます。
※ SW1 にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



ダウン タイマー[DOWN TIMER]

- 電動 RC カーの走行時間やエンジン RC カーでの燃費計算の目安になります。
- 99 : 59 まで 1 秒単位で設定できます。
- ダウン タイマー終了後にアップ タイマーに切り替わり、終了後の経過時間が確認できます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [タイマー] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) エンターキーで決定して [SET] 設定メニューに切り替えます。
※アップキー / ダウンキーで SET ⇄ LAP の切り替えになります。
- 3) タイプの設定 (TYPE)
アップキー / ダウンキーで TYPE の設定を [DOWN] に設定してエンターキーで決定します。
- 4) ダウン タイマーの設定値を調整します。
○設定範囲 00 : 01 ~ 99 : 59
○初期値 05 : 00
※00 : 00 ではアップ タイマーとして動作します。
- 5) タイマーのスイッチは初期値で SW1 に設定されています。
SW1 を長押しするとタイマーがスタート待機状態になり、再度 SW1 を押すかスロットル トリガーを操作すると計測がスタートします。
- 6) SW1 を押すとダウン タイマーがリスタートします。
- 7) 計測終了
SW1 を長押しすると計測が終了します。
※タイマーを動作させた状態でパワースイッチを OFF にするとタイマーがリセットされます。
※ SW1 にタイマーが設定されている場合には、タイマー設定画面以外でも長押しすることでスタート待機状態になります。



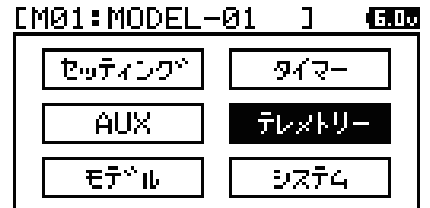
各機能の使用法

テレメトリーメニュー

テレメトリー/TELEMETRY

- テレメトリーに関連する LOGGER、ALERT SETTING、TELEMETRY SETTING を設定するメニューです。
- テレメトリー機能を使用する場合には、対応する受信機や SUPER VORTEX シリーズを使用することで対応可能になります。
- テレメトリーでは温度2系統、バッテリー電圧、回転数のデータが送信機で確認できます。

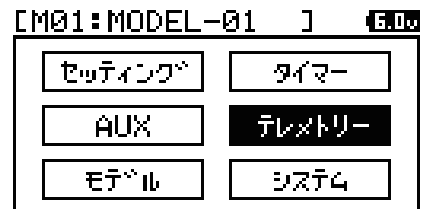
- ・LOGGER：温度2系統、電圧、回転数のデータが確認できます。
- ・ALERT SETTING：設定した温度や電圧でアラームを鳴らすことで機器の破損を未然に防ぎます。
- ・TELEMETRY SETTING：テレメトリー機能の各種設定



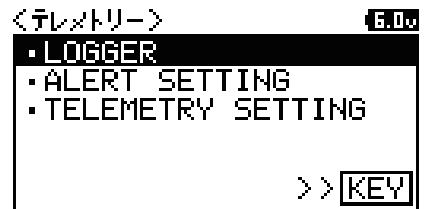
ロガー[LOGGER]

- 対応する受信機や SUPER VORTEX シリーズより、バッテリーやエンジン、モーターなどの温度2系統 (T1/T2)、走行用バッテリーや受信機に入力される電圧 (VOLT)、エンジンやモーターなどの回転数 (RPM) のデータを送信機にログ (記録) することができます。
 - ログ (記録) の設定は P.42 の TELEMETRY SETTING (テレメトリーの設定) の LOG STEP でおこない、設定できるログ (記録) の間隔は 0.1 ~ 45.9 秒です。
 - ログ (記録) は 120STEP 可能です。(最短約 12 秒~最長約 90 分)
 - ロガー (LOGGER) の動作スタートは [LOGGER] の各機能画面 (T1/T2/VOLT/RPM) でエンター長押しするか、キーアサインで設定したスイッチでおこないます。
- ※送信機のパワースイッチを OFF にするとログ データは消えてしまいますので、パワースイッチを OFF にする前にログ データを確認してください。

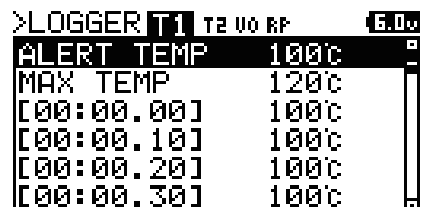
- 1) アップキー / ダウンキーで [テレメトリー] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [LOGGER] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) アップキー / ダウンキーで表示させるデータ [T1/T2/VOLT (VO)/RPM (RP)] を選択してエンターキーで決定します。
アップキー / ダウンキーでログデータを確認します。



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



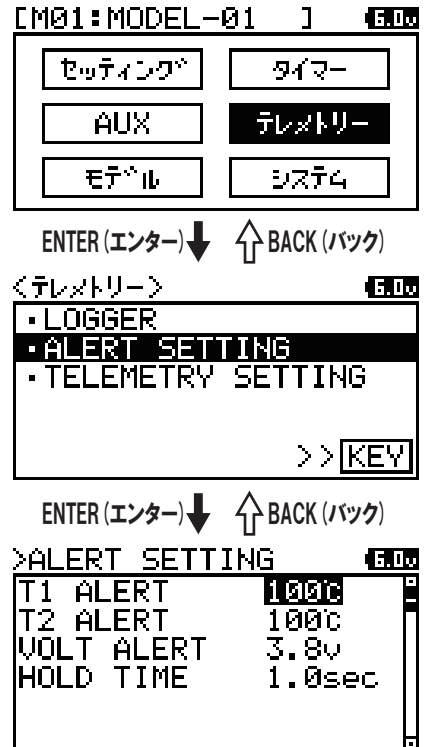
ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



アラート セットアップ[ALERT SETTING]

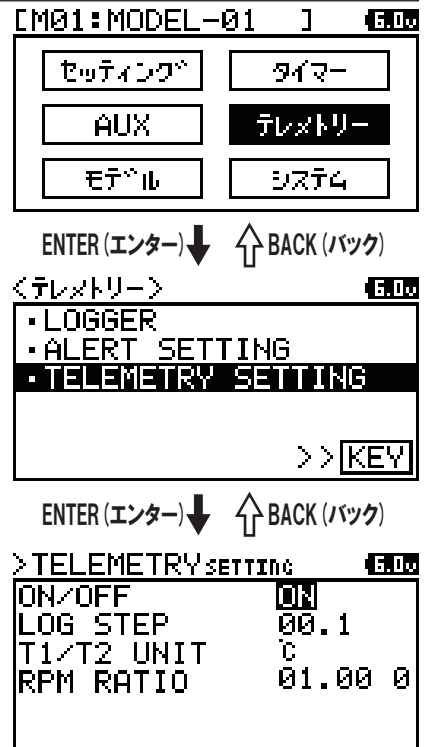
●テレメトリー データにあわせて、設定した温度や電圧でアラームが鳴り、送信機の青色 LED が点滅します。

- 1) アップキー / ダウンキーで [テレメトリー] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [ALERT SETTING] を選択し、エンターキーで決定します。
- 3) T1 ALERT の設定 (温度センサー 1 のアラーム設定)
アップキー / ダウンキーで [T1 ALERT] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 0 ~ 150℃
○初期値 100℃
- 4) T2 ALERT の設定 (温度センサー 2 のアラーム設定)
アップキー / ダウンキーで [T2 ALERT] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 0 ~ 150℃
○初期値 100℃
- 5) VOLT ALERT (設定した電圧でのアラーム設定)
アップキー / ダウンキーで [VOLT ALERT] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 3.0 ~ 9.0V
○初期値 3.8V
- 6) ホールド タイム の設定 (HOLD TIME)
※アクセル操作による瞬間的な電圧変動でアラーム動作が不安定にならないようにする設定です。
○設定範囲 0.0 ~ 5.0sec
○初期設定 1.0sec



テレメトリー セットアップ[TELEMETRY SETTING]

- テレメトリー各機能の設定をおこないます。
- 1) アップキー / ダウンキーで [テレメトリー] を選択し、エンターキーで決定します。
 - 2) アップキー / ダウンキーで [TELEMETRY SETTING] を選択し、エンターキーで決定します。
 - 3) テレメトリーの ON/OFF 設定
アップキー / ダウンキーで [ON/OFF] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 ON/OFF
○初期値 ON
 - 4) ログ ステップ の設定 (記録するログ データの間隔設定)
アップキー / ダウンキーで [LOG STEP] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 00.1 ~ 45.9s
○初期値 00.1s
 - 5) T1/T2 UNIT (温度センサーの単位設定)
アップキー / ダウンキーで [T1/T2 UNIT] を選択してエンターキーで決定します。
○設定範囲 °C / °F
○初期値 °C
 - 6) RPM RATIO の設定 (レシオの設定)
※回転センサーを減速された位置に設置した場合に、レシオの設定をおこなうことで、モーターやエンジンの回転数を逆算して表示させることができます。
○設定範囲 00.001 ~ 64.999
○初期設定 01.000



各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

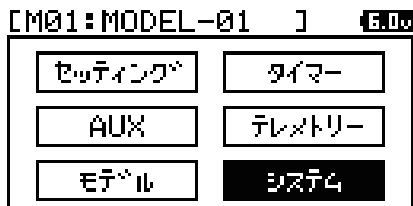
● バインド (BIND)、キー アサイン (KEY ASSING)、BUZZER (ブザー)、バッテリー (BATTERY)、LCD (エル シー ディー)、CALIBRATION (キャリブレーション) など、送信機のシステム設定をおこなう機能です。

バインド[BIND]

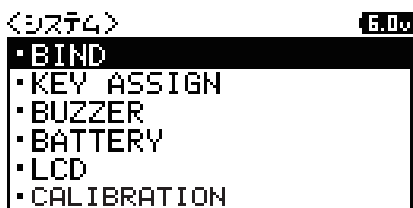
● 使用する受信機にあわせた出力方式の選択や、使用するサーボ (アナログ / デジタル) やスピードコントローラーにあわせてモードの設定や送信機と受信機のバインドをおこないます。

※初めて使用される場合、MT-R と RX-493i は (BIND/ バインド) されておられません。
BIND を必ず行ってからご使用ください。

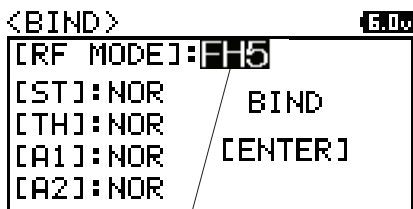
- 1) アップキー / ダウンキーで [システム] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [BIND] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) RF MODE の設定 (RF MODE : 電波の出力方式)
アップキー / ダウンキーで出力方式を設定します。
 - 出力方式
 - ・ FH5
 - RX-491、RX-492、RX-492i、RX-493、RX-493i
 - ※ FH4、FH3、FH-E、DS 方式の受信機は
組み合わせて使用できません
 - 初期値 FH5



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

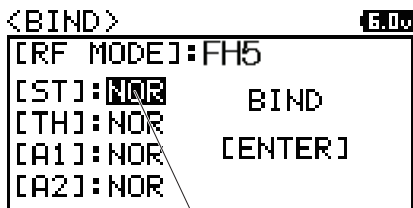


出力方式

- 4) チャンネル モードの設定
アップキー / ダウンキーで各チャンネルのレスポンス モードを設定します。
・ レスポンス モードはチャンネルごとに設定できます。

- 設定範囲 NOR (ノーマル)
SHR (ハイレスポンス)
SSR (スーパーレスポンス)
SUR (ウルトラレスポンス)

○ 初期値 NOR



レスポンス モード

重要

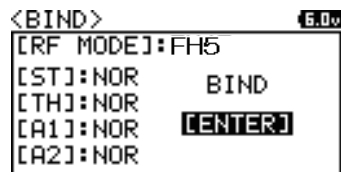
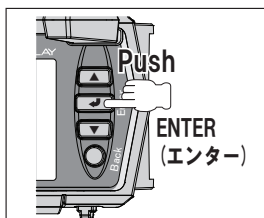
- SHR/SSR/SURモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。誤ってSHR/SSR/SURモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR/SSR/SURモードでアナログサーボを使用しないでください。デジタルサーボ(SRG、ERB、ERSシリーズ、Digital ERGシリーズ)の場合はNOR/SHRモードのどちらでも動作します。
- SSRモードはPGS、SRGサーボ、SUPER VORTEXシリーズ、HV-12 STOCK SPECIAL、HV-01のみ動作します。
- SURモードはPGSサーボ、SUPER VORTEX Gen2/PRO/D2のみ動作します。
- SHR/SSR/SURモードではBL-RACER、BL-FORCE、F2000、F2200、F3000、F3300、SBL-01、02、03CLは動作しません。必ずNORモードでご使用ください。
- BL-SIGMA、SV-08、HV-10、HV-12、F2500はNOR/SHRモードで動作します。

5) BIND(バインド) の設定

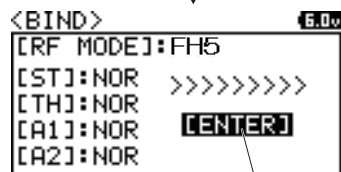
● BIND(バインド) とは：MT-R 送信機はそれぞれ固有の ID(個体識別) 番号をもって、その ID 番号を受信機に記憶させることです。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しません。

1] BIND(バインド) メニュー内の設定が終了したら
アップキー / ダウンキー / エンターキーにより
BIND 設定をおこないます。

2] BIND メニュー内の [ENTER] にカーソルを移動して
エンター操作すると送信機が BIND(バインド) 動作になります。



ENTER (エンター) ↓



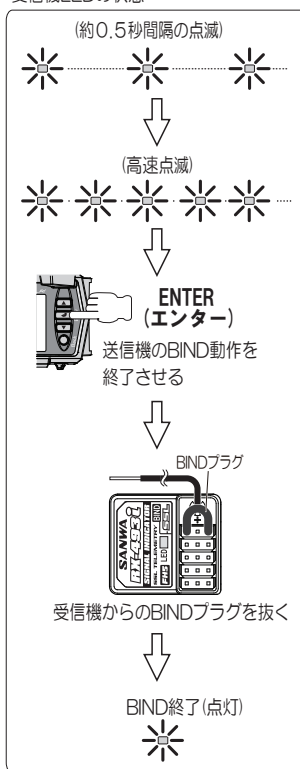
3] 受信機の BIND/SSL ポートに BIND プラグを接続して、
受信機側の電源 SW を ON にします。



注) 上記の受信機には配線が接続されていませんが、
BIND する際には、サーボや FET スピード
コントローラー(モーターは除く)、バッテリー
を接続した状態でおこなってください。

4] BIND(バインド) が正しくおこなわれると、受信機の LED が
ゆっくりとした点滅から高速点滅になり、送信機のエンターキーを
操作して送信機の BIND 動作を終了させてください。
次に受信機の BIND プラグを抜きます。
BIND が正しくおこなわれると受信機 LED が点灯します。
受信機 LED が点灯したらサーボ等を動作させて BIND が終了
したことを確認してください。
※ BIND(バインド) が正しくおこなえない場合には、2] の作業から
やりなおしてください。

受信機LEDの状態 点滅



各機能の使用方法

⚠ 注意

- 出荷時にはBINDされていません。ご使用になる前に必ずBINDをおこなってください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でBINDをおこなってください。
- 必ずBINDした送信機と受信機のセットでお使いください。
- BINDしたあとにBINDメニュー内の設定を変更した場合は再度BINDをおこなってください。
- BIND(バインド)してからチャンネルのモード設定(NOR/SHR/SSR/SUR)の設定を変更した場合には再度BIND(バインド)をおこなってください。再バインドしないと設定変更が反映されません。

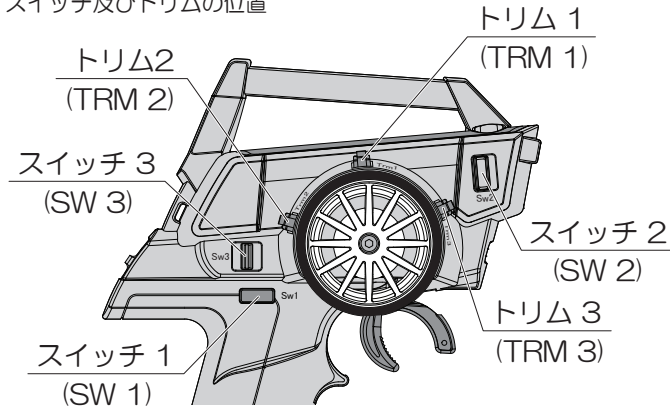
各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

● バインド (BIND)、キー アサイン (KEY ASSING)、BUZZER(ブザー)、バッテリー (BATTERY)、LCD(エルシーディー)、CALIBRATION(キャリブレーション) など、送信機のシステム設定をおこなう機能です。

スイッチ及びトリムの位置



工場出荷時にスイッチとトリムに割り当てられている機能
 TR1 : ステアリング トリム (TRM-ST)
 TR2 : スロットル トリム (TRM-TH)
 TR3 : デュアルレート ST(D/R-ST)
 SW1 : タイマー (TIMER)
 SW2 : OFF
 SW3 : OFF

キー アサイン スイッチ [KEY ASSIGN SW]

● 送信機のスイッチ (SW1、SW2、SW3) に機能を割り当てることができ、走行中に機能の ON/OFF、ができます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [システム] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [KEY ASSIGN] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) スイッチの設定 (SW1/SW2/SW3) [SW] でエンター操作をおこない、スイッチに割り当てる機能をアップキー / ダウンキーで設定します。

○ 設定範囲

スイッチ	割り当て可能な機能
SW1	OFF, ASIST-ST, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CUR-ST, CUR-TH, SPD-ST, SPD-TH, ALB, OFFSET, AUX1, AUX2, TIMER, TE-CLR, LOGGER

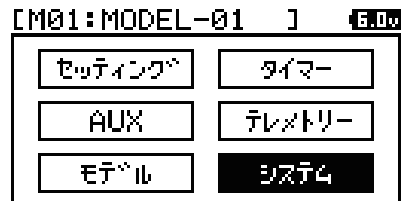
スイッチ	割り当て可能な機能
SW2	OFF, ASIST-ST, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CUR-ST, CUR-TH, SPD-ST, SPD-TH, ALB, OFFSET, AUX1, AUX2

スイッチ	割り当て可能な機能
SW3	OFF, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CU-R-ST, CU-R-TH, CU-R-BR, SP-ST-F, SP-ST-R, SP-TH-F, SP-TH-R, ALB-ST, ALB-LG, ALB-CY, OFFSET, AUX1(CD1~10), AUX2(CD1~10)

○ 初期値 SW1 : TIMER SW2 : OFF SW3 : OFF
 ※ SW1、2 に [ASIST-ST] を設定することでステアリングに設定できる D/R、SPEED、CURVE の機能を ON/OFF することが可能です。

- 4) モードの設定
 スイッチの動作を設定しますが割り当てる機能によっては設定出来ない場合があります。

○ 設定範囲 TOGGLE (押すたびに ON/OFF 切り替え)
 PUSH (押し続けているあいだのみ ON)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)



SW3のMODE設定について

	①	②	③
TWEAK1	ニュートラル	P1	P2
TWEAK2	P1	ニュートラル	P2

P1/P2のポジションも自由に変更可能です。

キー アサイントリム[KEY ASSIGN TRIM]

- 各機能の設定値をトリム1～トリム3で変更できます。
- STEPの設定で1回のトリム操作での変化幅の設定とREVの設定で動作方向も変更できます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [システム] を選択し、
エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [KEY ASSIGN] を選択して
エンターキーで決定します。
- 3) トリムの設定 (TRM1/TRM2/TRM3)
[TRM] でエンター操作をおこない、トリムに割り当てる
機能をアップキー / ダウンキーで設定します。

```

>KEY ASSIGN su TRM 6.00
[KEY] [FUNCTION] [STEP] [REV]
TR1: TRM-ST      5 NOR
TR2: TRM-TH      5 NOR
TR3: D/R-ST      1 NOR
    
```

○設定範囲

トリム	割り当て可能な機能
TRIM1	OFF, TRIM-ST, TRM-TH, TRIM-A1, TRIM-A2, D/R-ST, D/R-TH, D/R-BR, CU-R-ST,
TRIM2	CU-R-TH, CU-R-BR, SP-ST-F, SP-ST-R, SP-TH-F, SP-TH-R, ALB-PO, ALB-ST,
TRIM3	ALB-LG, ALB-CY, OFFSET, AUX1(CD1~10), AUX2(CD1~10)

○初期値 TR1 : TRM-ST
TR2 : TRM-TH
TR3 : D/R-ST

- 4) ステップの設定 (STEP)
1回のトリム操作で動作する変化量を設定します。
アップキー / ダウンキーで [STEP] を選択してエンターキーで
決定して変化量を設定します。

○設定範囲 1 ~ 100
○初期値 5

- 5) 動作方向の設定
トリムを操作した際の動作方向の設定をします。
アップキー / ダウンキーで [REV] を選択してエンターキーで
決定して動作方向を設定します。

○設定範囲 NOR/REV
○初期値 NOR

○初期設定 TRIM-1 : ステアリング トリム (TRM-ST)
TRIM-2 : スロットル トリム (TRM-TH)
TRIM-3 : ステアリング デュアル レート (D/R-ST)

各機能の使用法

システム メニュー

システム/SYSTEM

ブザー[BUZZER]

- キー操作やトリム、スイッチの操作音、タイマーのブザー音の音階を設定できます。
- 音量は5段階、音階は7種類に設定できます。

- 1) アップキー / ダウンキーで [システム] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [BUZZER] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) ボリュームとトーンの設定 (VOLUME/TONE)
アップキー / ダウンキーでボリューム (音量) とトーン (音階) を設定します。

○設定範囲 VOLUME OFF ~ 5
TONE 1 ~ 7

○初期値 VOLUME 4
TONE 1

[M01: MODEL-01] 5.0v



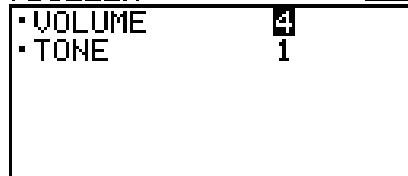
ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

<システム> 5.0v



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

>BUZZER 5.0v



バッテリー[BATTERY]

- 送信機のバッテリーアラームの電圧設定を変更できます。
 - タイプ [DRYx4 (乾電池) / Ni-MHx4 (ニッケル水素) / Li-Fex2 (リチウム フェライト) / Li-Pox2 (リチウム ポリマー)、CUSTOM (カスタム)] を選択することによってアラーム設定を簡単におこなえます。
- ※タイプでカスタムを選択するとアラームが鳴り始める電圧を設定する ALERT VOLT と下限電圧の LIMIT VOLT の設定が可能です。

- 1) アップキー / ダウンキーで [システム] を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー / ダウンキーで [BATTERY] を選択してエンターキーで決定します。
- 3) タイプの設定 (TYPE)
アップキー / ダウンキーで使用するバッテリーにあわせてタイプ (TYPE) を設定します。

○設定範囲 DRYx4 (乾電池)
Ni-MHx4 (ニッケル水素)
Li-Fex2 (リチウム フェライト)
Li-Pox2 (リチウム ポリマー)
CUSTOM (カスタム) : ALERT VOLT 4.1 ~ 9.0v
LIMIT VOLT 4.0 ~ 9.0v

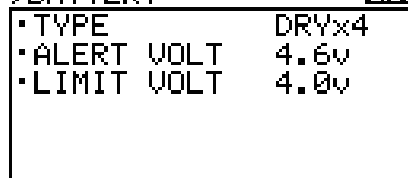
○初期値 DRYx4 (乾電池)

<システム> 5.0v



ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

>BATTERY 5.0v

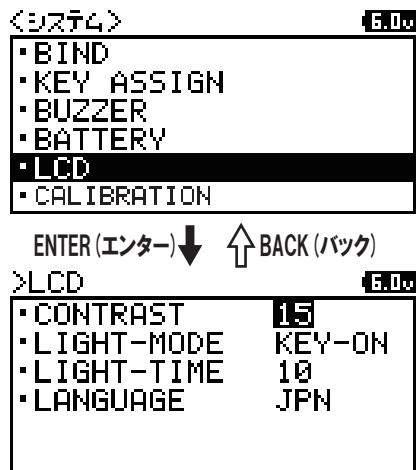


エルシーディー[LCD]

● LCD(液晶)のコントラスト(濃淡)やバックライトの点灯モード、言語表示が設定できます。

- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
- 2) アップキー/ダウンキーで[LCD]を選択してエンターキーで決定します。
- 3) LCD(液晶)のコントラスト(濃淡)、バックライトの点灯モード(点灯時間)、ランゲージ(言語)を設定します。

- 設定項目 CONTRAST(液晶の濃淡)
LIGHT-MODE(バックライト点灯モード)
LIGHT-TIME(バックライト点灯時間)
LANGUAGE(日本語/英語表示切替)
- 設定範囲 CONTRAST: 0 ~ 30
LIGHT-MODE: OFF/KEY-ON/ALWAYS
LIGHT-TIME: 1 ~ 30sec
LANGUAGE: JPN/ENG
- 初期値 CONTRAST: 15
LIGHT-MODE: KEY-ON
LIGHT-TIME: 10sec
LANGUAGE: JPN

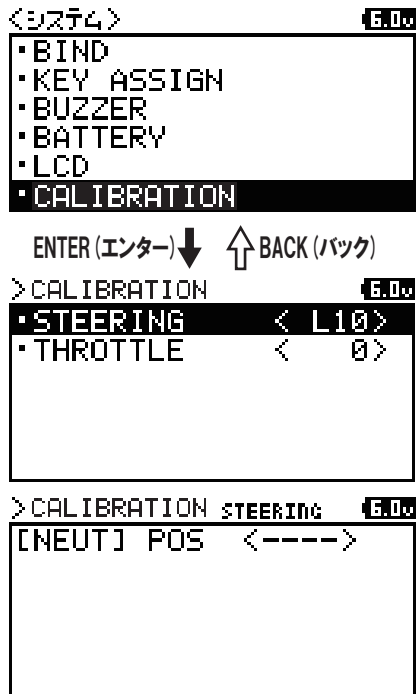


キャリブレーション[CALIBRATION]

● 使用時間による内部機構部品の消耗により、ニュートラル位置や動作角度がずれる場合があります。

そのような場合にキャリブレーションをおこなうことでステアリングとスロットルのニュートラル位置および動作角度の補正をかけることができます。

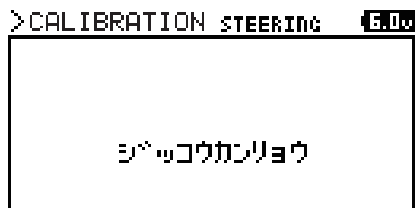
- 1) アップキー/ダウンキーで[システム]を選択し、エンターキーで決定します。
 - 2) アップキー/ダウンキーで[CALIBRATION] を選択してエンターキーで決定します。
 - 3) アップキー/ダウンキーでボリューム アジャストするチャンネルを選択してエンターで決定します。
 - 4) STEERING を選択した場合、ステアリング ホイルがニュートラルの状態ではエンター操作してからステアリング ホイルを左側、右側いっばいに操作します。
 - 5) 範囲内に入ると[OK]と表示されますので、画面の表示にしたがって操作してください。
 - 6) キャリブレーションが完了すると[ジッコウカンリョウ]と表示されます。
- ※スロットルも同じようにトリガーを操作して補正を行ってください。



各機能の使用方法

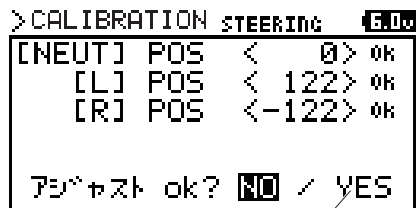
補足

- キャリブレーションをおこなっても正常な動作に戻らないときは、三和サービスへお問い合わせください。



キャリブレーション完了

← YES選択



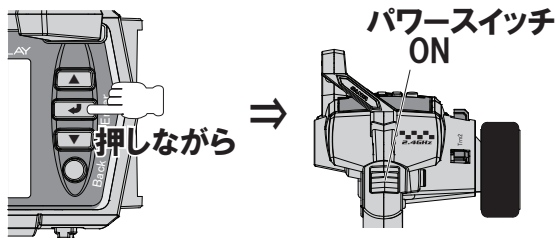
OKならYESを選択

各機能の使用法

クイック セット アップ ウィザードについて

- エンターボタンを押しながらパワースイッチを ON するとセットアップ ウィザードが立ち上がります。新しい RC カーをセットアップする際など、簡単操作で各種設定がおこなえる機能です。
- セットアップ ウィザードは、スタート画面→モデル選択→タイプ選択→モデル初期化→RF モード選択→レスポンスモード選択→バインド→ベース設定の手順となります。

1) エンターキーを押しながらパワースイッチを ON します。



2) セットアップ ウィザード画面が表示されます。エンターキーを押すとセットアップ ウィザードがスタートします。

3) モデルセレクト画面に切り替わり、設定するモデルをアップキー / ダウンキーで選択します。設定するモデルが確定したらエンターキーで決定します。

4) カータイプ セレクト画面に切り替わりますので、カータイプをアップキー / ダウンキーで選択します。カータイプが確定したら、エンターキーで決定します。

タイプ設定

- 設定範囲 EP CAR STANDARD
- EP CAR DRIFT
- EP CAR (PGS)
- EP CAR (SV-G2P)
- EP CAR (SV-D2)
- GP CAR STANDARD
- 1/5 GP CAR DUAL-BR1
- 1/5 GP CAR DUAL-BR2
- CRAWLER 4WS/MOA

○初期値 EP CAR STANDARD

<クイックセットアップ> 6.00

```
クイックセットアップ ウィザード
スタート
[ENTER]
```

ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

1. モデルセレクト 6.00

```
[ M01 : MODEL-01 ]
M01 : MODEL-01 <FH5 >
M02 : MODEL-02 <FH5 >
M03 : MODEL-03 <FH5 >
M04 : MODEL-04 <FH5 >
```

ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

2. カータイプ 6.00

```
TYPE : EP CAR (SU-G2P)
1ch > ST Trn2 > TRM-TH
2ch > ESC Trn3 > D/R-ST
3ch > CDsu-g2p SW2 > OFF
4ch > CDpgs-cla SW3 > OFF
```

ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

3. モデルジョキカ 6.00

```
[ M01 : MODEL-01 ]
< EP CAR (SU-G2P) >
ジョキカシマス  NO / YES
```

ENTER (エンター) ↓ ↑ BACK (バック)

※各タイプでのチャンネル動作は以下ようになります。

TYPE別チャンネル動作仕様

CH	TYPE	EP CAR STANDARD	EP CAR (DRIFT)	EP CAR (PGS)	EP CAR (SV-G2P)	EP CAR (SV-D2)	GP CAR STANDARD	1/5 GP CAR DUAL-BR1	1/5 GP CAR DUAL-BR2	CRAWLER 4WS/MOA
CH1		ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング	ステアリング 1	ステアリング	ステアリング F
CH2		ESC	ESC	ESC	ESC	ESC	スロットル / ブレーキ	スロットル / ブレーキ R	スロットル	ESC F
CH3		AUX1	AUX1	AUX1	CODE1	CODE1	AUX1	ステアリング 2	ブレーキ R	ステアリング R
CH4		AUX2	AUX2	CODE2	CODE2	CODE2	CODE2	ブレーキ F	ブレーキ F	ESC R

※使用する RC カーにあわせてタイプ選択してください。

5) カータイプ設定を決定するとしてエンターで決定すると
イニシャライズ（モデル初期化）画面に切り替ります。
メッセージに従ってイニシャライズをおこなってください。

6) イニシャライズ（モデル初期化）が完了すると
RF モード選択画面に切り替ります。
使用する受信機にあわせてRF モードを
アップキー / ダウンキーで設定してエンターキーで
決定してください。

- 設定範囲 FH5
- 初期値 FH5

- ・対応受信機 FH5
RX-491、RX-492、RX-492i、RX-493、
RX-493i

7) 受信機にあわせた RF モードが決定されると
レスポンス モード選択画面に切り替ります。
使用するサーボや機器にあわせて各チャンネルの
レスポンス モードを設定します。
アップキー / ダウンキーで設定し、エンターキーで
決定してください。

- 設定範囲 NOR(ノーマル / アナログ サーボ)
SHR(ハイレスポンス / デジタル サーボ)
SSR(スーパーレスポンス / SRG サーボ)
SUR(ウルトラレスポンス / PGS サーボ)

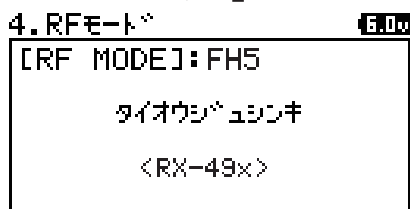
- 初期値 NOR(ノーマル / アナログ サーボ)

8) レスポンス モードの設定が完了すると
BIND(バインド) 設定画面に切り替ります。
画面メッセージに従ってバインド作業を
おこなってください。

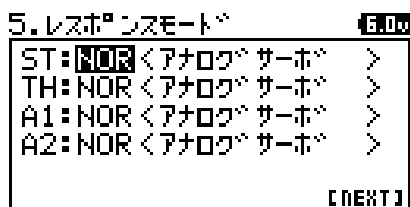
9) BIND(バインド) が終了するとベース設定画面に
切り替ります。各チャンネルの設定をおこなって
ください。(P.43 参照)

10) ベース設定が終了するとセットアップ ウィザードは
終了します。エンターボタンを押すと、トップ画面へ
切り替ります。

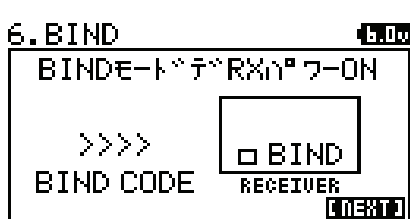
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



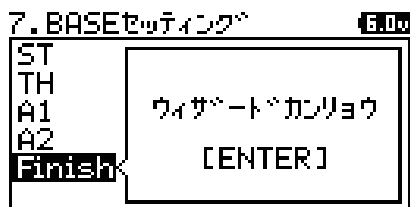
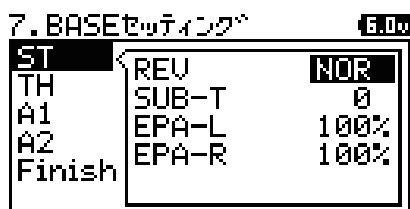
ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



ENTER(エンター) ↓ ↑ BACK(バック)



重要

- SHR/SSR/SURモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
誤ってSHR/SSR/SURモードでアナログサーボを使用すると正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR/SSR/SURモードでアナログサーボを使用しないでください。
デジタルサーボ(SRG、ERB、ERSシリーズ、Digital ERGシリーズ)の場合はNOR/SHRモードのどちらでも動作します。
- SSRモードはPGSサーボ、SRGサーボ、SUPER VORTEXシリーズ、HV-12 STOCK SPECIAL、HV-01のみ動作します。
- SURモードはPGSサーボ、SGS-02、SUPER VORTEX Gen2/PRO/D2のみ動作します。
- SHR/SSR/SURモードではBL-RACER、BL-FORCE、F2000、F2200、F3000、F3300、SBL-01、02、03CLは動作しません。
必ずNORモードでご使用ください。
- BL-SIGMA、SV-08、HV-10、HV-12、F2500はNOR/SHRモードで動作します。
- お使いになるスピードコントローラーの取扱説明書を必ずお読みください。

各機能の使用法

クイック セット アップ ウィザードについて

- エンターボタンを押しながらパワースイッチを ON するとセットアップ ウィザードが立ち上がります。スタート画面→モデル選択→クイックセットアップウィザードの手順でも設定が可能です。新しい RC カーをセットアップする際など、簡単操作で各種設定がおこなえる機能です。

① EP CAR STANDARD 一般的な電動カー用の設定

1CH : ST (ステアリング)	SW1 : TIMER	TR1 : TRM-ST
2CH : ESC (スピードコントローラー)	SW2 : OFF	TR2 : TRM-TH
3CH : AUX1	SW3 : OFF	TR3 : D/R-ST
4CH : AUX2		

② EP CAR DRIFT ドリフトカー用の設定 TRM3キーを操作することで、AUX(3CH)の設定を変更することができます。 ※3CHに接続されたジャイロなどの設定が可能です。

1CH : ST (ステアリング)	SW1 : TIMER	TR1 : TRM-ST
2CH : ESC (スピードコントローラー)	SW2 : OFF	TR2 : TRM-TH
3CH : AUX1	SW3 : OFF	TR3 : AUX1
4CH : AUX2		

③ EP CAR (PGS) ステアリングサーボに「PGS」シリーズを使用する場合の設定 受信機のSSLポートに対象となるサーボを接続することで 「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から対象のサーボの設定が可能です。

1CH : ST (ステアリング)	SW1 : TIMER	TR1 : TRM-ST
2CH : ESC (スピードコントローラー)	SW2 : OFF	TR2 : TRM-TH
3CH : AUX1	SW3 : OFF	TR3 : D/R-ST
4CH : CODE (PGS)		

④ EP CAR (SV-G2P) ステアリングサーボに「PGS」シリーズ、スピードコントローラーに 「SUPER VOLTEX GEN2/GEN2 PRO/D2」を使用する場合の設定 受信機のSSLポートに対象となるサーボ/スピードコントローラーを接続することで 「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から 対象のサーボ/スピードコントローラーの設定が可能です。

1CH : ST (ステアリング)	SW1 : TIMER	TR1 : TRM-ST
2CH : ESC (スピードコントローラー)	SW2 : OFF	TR2 : TRM-TH
3CH : CODE (SV-G/D)	SW3 : OFF	TR3 : D/R-ST
4CH : CODE (PGS)		

⑤ EP CAR (SV-D2) スピードコントローラーに「SUPER VOLTEX GEN2/GEN2 PRO/D2」、 ジャイロに「SGS-02」を使用する場合の設定 受信機のSSLポートに対象となるスピードコントローラー/ジャイロを接続することで 「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から 対象のスピードコントローラー/ジャイロの設定が可能です。

1CH : ST (ステアリング)	SW1 : TIMER	TR1 : TRM-ST
2CH : ESC (スピードコントローラー)	SW2 : OFF	TR2 : TRM-TH
3CH : CODE (SV-G2/D)	SW3 : OFF	TR3 : D/R-ST
4CH : CODE (SGS-02)		

⑥ GP CAR STANDARD

GP(エンジン)カー用の設定

SW2にOFFSET機能のON/OFFが設定

ステアリングサーボ/スロットルサーボに「PGS」シリーズを使用する場合の設定
受信機のSSLポートに対象となるサーボを接続することで

「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から対象のサーボの設定が可能です。

1CH: ST (ステアリング)	SW1: TIMER	TR1: TRM-ST
2CH: TH/BR (スロットル/ブレーキ)	SW2: OFFSET	TR2: TRM-TH
3CH: AUX1	SW3: OFF	TR3: D/R-ST
4CH: CODE (PGS)		

⑦ 1/5GP DUAL -BR1

1CH&3CHにステアリングサーボ、

2CH&4CHにスロットル/ブレーキサーボを使用する場合の設定

TRM2キーの操作で2CH側のブレーキサーボの動作量

TRM3キーの操作で4CH側のブレーキサーボの動作量の設定が可能です。

1CH: ST1 (ステアリング)	SW1: TIMER	TR1: TRM-ST
2CH: TH/BR (スロットル/ブレーキ)	SW2: OFFSET	TR2: D/R-BR
3CH: ST2 (ステアリング)	SW3: OFF	TR3: AUX2
4CH: BR (ブレーキ)		

⑧ 1/5GP DUAL-BR2

1CHにステアリングサーボ、2CHにスロットルサーボ、

3CH&4CHにブレーキサーボを使用する場合の設定

TRM2キーの操作で3CH側のブレーキサーボの動作量

TRM3キーの操作で4CH側のブレーキサーボの動作量の設定が可能です。

「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から

2CH/3CHのブレーキサーボのミキシング

2CH/4CHのスロットル/ブレーキのミキシングの設定が変更できます

1CH: ST1 (ステアリング)	SW1: TIMER	TR1: TRM-ST
2CH: TH (スロットル)	SW2: OFFSET	TR2: AUX1
3CH: BR1 (ブレーキ)	SW3: OFF	TR3: AUX2
4CH: BR2 (ブレーキ)		

⑨ CRAWLER 4WS/MOA

1CH&3CHにステアリングサーボ、

2CH&4CHにスピードコントローラーを使用する場合の設定

TRM3キーの操作で、4WS機能の切り替えが可能です。

[F-ST]⇔[REV]⇔[NOR]⇔[R-ST]

TRM2キーの操作で、MOA-RATEの変更が可能です。

[F100:RO]⇔[F100:R100]⇔[FO:R100]

「メインメニュー」→「AUX」→「CH」から

MOA機能と4WS機能の詳細な設定が変更できます。

1CH: ST1 (ステアリング)	SW1: TIMER	TR1: TRM-ST
2CH: ESC1 (スピードコントローラー)	SW2: OFF	TR2: AUX2
3CH: ST2 (ステアリング)	SW3: OFF	TR3: AUX1
4CH: ESC2 (スピードコントローラー)		

キーサイン機能一覧

画面表示	機能名称	トリム	SW1	SW2	SW3
OFF	——(機能割付け無し)	○	○	○	○
TRIM-ST	ステアリング トリム	○	—	—	—
TRIM-TH	スロットル トリム	○	—	—	—
TRIM-A1	AUX1 トリム	○	—	—	—
TRIM-A2	AUX2 トリム	○	—	—	—
D/R-ST	ステアリング デュアルレート	○	○	○	○
D/R-TH	スロットル デュアルレート	○	○	○	○
D/R-BR	ブレーキ デュアルレート	○	○	○	○
CUR-ST	ステアリング カーブ	—	○	○	—
CUR-TH	スロットル カーブ	—	○	○	—
CU-R-ST	ステアリング カーブ レート	○	—	—	○
CU-R-TH	スロットル カーブ レート	○	—	—	○
CU-R-BR	ブレーキ カーブ レート	○	—	—	○
SPD-ST	ステアリング スピード	—	○	○	—
SPD-TH	スロットル スピード	—	○	○	—
SP-ST-F	ステアリング スピード フォワード	○	—	—	○
SP-ST-R	ステアリング スピード リターン	○	—	—	○
SP-TH-F	スロットル スピード フォワード	○	—	—	○
SP-TH-R	スロットル スピード リターン	○	—	—	○
ALB	アンチ ロック ブレーキ	—	○	○	—
ALB-PO	アンチ ロック ブレーキ ポイント	○	—	—	—
ALB-ST	アンチ ロック ブレーキ ストローク	○	—	—	○
ALB-LG	アンチ ロック ブレーキ ラグ	○	—	—	○
ALB-CY	アンチ ロック ブレーキ サイクル	○	—	—	○
OFFSET	オフセット	○	○	○	○
AUX1	AUX1	○	○	○	○
AUX1(CODE1)	AUX1(コード1)	○	—	—	○
AUX1(CODE10)	AUX1(コード10)				
AUX2	AUX2	○	○	○	○
AUX2(CODE1)	AUX2(コード1)	○	—	—	○
AUX2(CODE10)	AUX2(コード10)				
ASIST-ST	ステアリングドライブ アシスト	—	○	○	—
TIMER	タイマー	—	○	—	—
TE-CLR	テレメトリー MAX クリア	—	○	—	—
LOGGER	ログ クリア&スタート	—	○	—	—

設定可能・・・「○」 設定不可・・・「—」

送信機の LED 点灯一覧

LED の状態	動作
点灯	通常動作中（電波出力中）
高速点滅	ALB 動作中
中速点滅	バッテリー アラーム動作中
点滅	ロガー動作中
2 回点滅	OFFSET 動作中 テレメトリー アラーム動作中 POWER ON アラーム動作中
高速点滅	バッテリー (LIMIT) アラーム動作中 オーバー ボルテージ アラーム動作中
低速点滅	BIND コマンド送信中

牽引

あ	アラート セットアップ [ALERT SETTING]	P. 42
	アンチ ロック ブレーキ [ALB]	P. 26
	インターバル タイマー [INT TIMER]	P. 40
	エル シー ディー [LCD]	P. 48
	エー ユー エックス [AUX]	P. 29~34
	エー ユー エックス ミキシング [AUX-MIX]	P. 33
	エンド ポイント アジャスト [EPA]	P. 23、24
	オフセット [OFFSET]	P. 27
か	カーブ [CURVE]	P. 20
	キーアサイン スイッチ [KEY ASSIGN SW]	P. 45
	キーアサイン トリム [KEY ASSIGN TRIM]	P. 46
	クイック セットアップ ウィザード	P. 49~52
	コード エー ユー エックス [CODE AUX]	P. 34
さ	サブ トリム [SUB TRIM]	P. 22
	スピード [SPEED]	P. 19
	ステップ エー ユー エックス [STEP AUX]	P. 29
	スロットル タイプ [TH TYPE]	P. 28
	システム [SYSTEM]	P. 43~48
	セッティング [SETTING]	P. 18~28
た	タイマー [TIMER]	P. 39、40
	ダウン タイマー [DOWN TIMER]	P. 40
	テレメトリー [TELEMETRY]	P. 41、42
	テレメトリー セットアップ [TELEMETRY SETTING]	P. 42
	デュアル レート [D/R]	P. 18
	トリム [TRIM]	P. 25
は	バインド [BIND]	P. 43、44
	バッテリー [BATTERY]	P. 47
	ファンクション [FUNC]	P. 25
	フェール セーフ [F/S]	P. 21
	4 ホイール ステアリング [4WS]	P. 31
	ブザー [BUZZER]	P. 47
	ベース [BASE]	P. 22
	ポイント エー ユー エックス [POINT AUX]	P. 30
	キャリブレーション [CALIBRATION]	P. 48
ま	モデル [MODEL]	P. 35~38
	モデル クリア [MODEL CLEAR]	P. 38
	モデル コピー [MODEL COPY]	P. 37
	モデル セレクト [MODEL SELECT]	P. 35
	モデル ネーム [MODEL NAME]	P. 36
	モーター オン アクスル [MOA]	P. 32
ら	ラップ タイマー [LAP TIMER]	P. 39
	リバース [REV]	P. 22

こんなときは・・・

現象	原因	処理
電源が入らない。	乾電池またはバッテリーが消耗している。 乾電池の入れ間違い。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。 極性表示とおりに入れなおす。
ときどき電源が切れる。	コネクタ等の接触不良	サンワサービスへ
距離が届かない。	乾電池またはバッテリーが消耗している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。 直らない場合はサンワサービスへ
アラームが鳴り止まない。	送信機のバッテリー電圧が低下している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。
キーを押してもクリック音が鳴らない。	BUZZER機能のVOLUMEがOFF (0)になっている。	BUZZER機能を確認してください。(P.47)
サーボのスピードが遅い。	SPEED(スピード)の機能で設定がマイナスになっている。	SPEED(スピード)の機能を確認してください。(P.19)
	受信機バッテリーの電圧が低下している。	新しい乾電池または充電されたバッテリーと交換してください。
	車体側のリンケージが重い。	車体側のリンケージが軽く動くか確認してください。
左右の舵角を合わせても、左右の舵角が違う。	トリムニュートラルがズれている。	トリムを合わせ、EPAを再設定してください。(P.25)
操作したとき両端でサーボが動かない。	D/R、EPAの舵角設定が大きすぎる。	どちらかの値を100%以下に設定します。(P.18、23、24)
トリムを操作してもサーボが動かない。	トリム動作範囲の片側いっぱいになっている。	サーボホーン、トリムセンターを再設定します。(P.22)

サンワサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを。この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも異常のあるときはトラブルの状況を詳しくご記入の上、本社サービスまで修理依頼
してください。

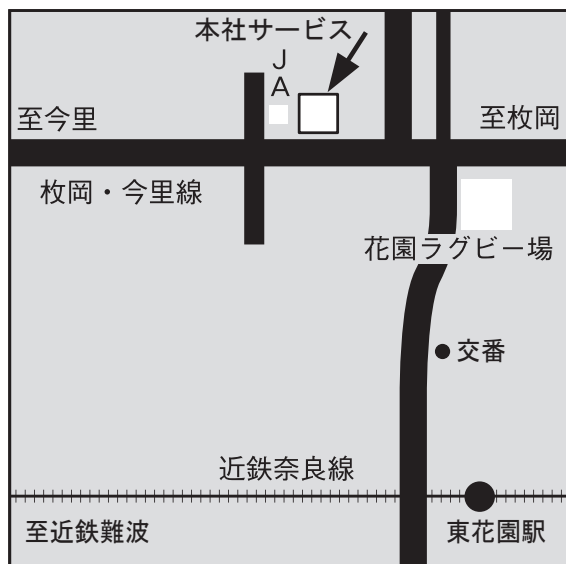
オーバーホールや点検時は点検内容を詳しくご記入ください。

また、ご質問、お問い合わせ等がありましたら、本社サービス/東京営業所にて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除くAM9：30～12：00、PM1：00～5：00です。

最新製品の情報などは弊社ホームページをご参照ください。

<https://sanwa-denshi.co.jp/rc/car/>



〈本社サービス〉

東大阪市吉田本町1丁目2-50

〒578-0982 ☎072(962)2180

修理依頼カード

このカードは故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品といっしょにお送りください。

〒 _____
 ご住所 _____ フリガナ _____ 電話 市外()
 お名前 _____ ()-

修理依頼用件

1回目 年 月 日

ご意見・ご要望

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 水が入った。
- その他

修理依頼用件

2回目 年 月 日

ご意見・ご要望

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 水が入った。
- その他

キリトリ線



SANWA プロポ保証書

製品型名 **MTAR**

製造番号 _____

ご住所 _____

お名前 _____

保証期間

お買上げ日
有効期限

年 月 日) 180日間
年 月 日)

販売店名・印 _____

当社製品を上記記載通り保証いたします。

三和電子機器株式会社


キリトリ線

「???'と感したら……

動きがおかしかったり、「???'と感じたときは次のことをもう一度確認してください。

- 送信機、受信機の乾電池は正しく入っていますか？ 極性（+、-）は間違えていませんか？
- 送信機、受信機の電源スイッチは“ON”になっていますか？
- 送信機、受信機のBIND(バインド)設定は正しくできていますか？
※送信機、受信機は初期状態ではBIND(バインド)されておりませんので必ずBIND(バインド)してからご使用ください。
- コネクターがはずれていませんか？
- 動作部分のリンケージ(セットアップ)が固すぎませんか？

以上のことを確かめても正常に動作しないときは、サンワ サービスに保証書と修理依頼カードを添付してお送りください。

 プロボは水が一番きらいです。プロボに水が入りそうな場合は、防水対策をおこなってください。ビニール袋等に入れて袋の口をゴムやテープでふさいでください。受信機やサーボに水が入ると、内部の電子部品が壊れて動作しなくなります。



キリトリ線

- 1.本保証書は表面記入の製品型名、製造番号のみについて有効です。
- 2.正常な使用状態において、製造上の責任による故障はお買い上げの日から6ヶ月(180日)以内にて無償修理いたします。
但し、車体、エンジン等その他の保障についてはご容赦願います。
- 3.保障期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - 電氣的、機械的に変更または手を加えられた場合。
 - 弊社サービス以外で修理された場合。
 - 使用上の操作の過失、または事故により発生した故障と認められた場合。
 - 本保証書を紛失された場合、または修理の際に添付されない場合。
 - お買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入のない場合。
 - 記入事項を訂正された場合。









SANWA

三和電子機器株式会社

本社/東大阪市吉田本町1-2-50 〒578-0982 ☎072 (964) 2531
東京営業所/東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル) 〒111-0053 ☎03 (3862) 8857

- 予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。
- 2022年7月 第1版